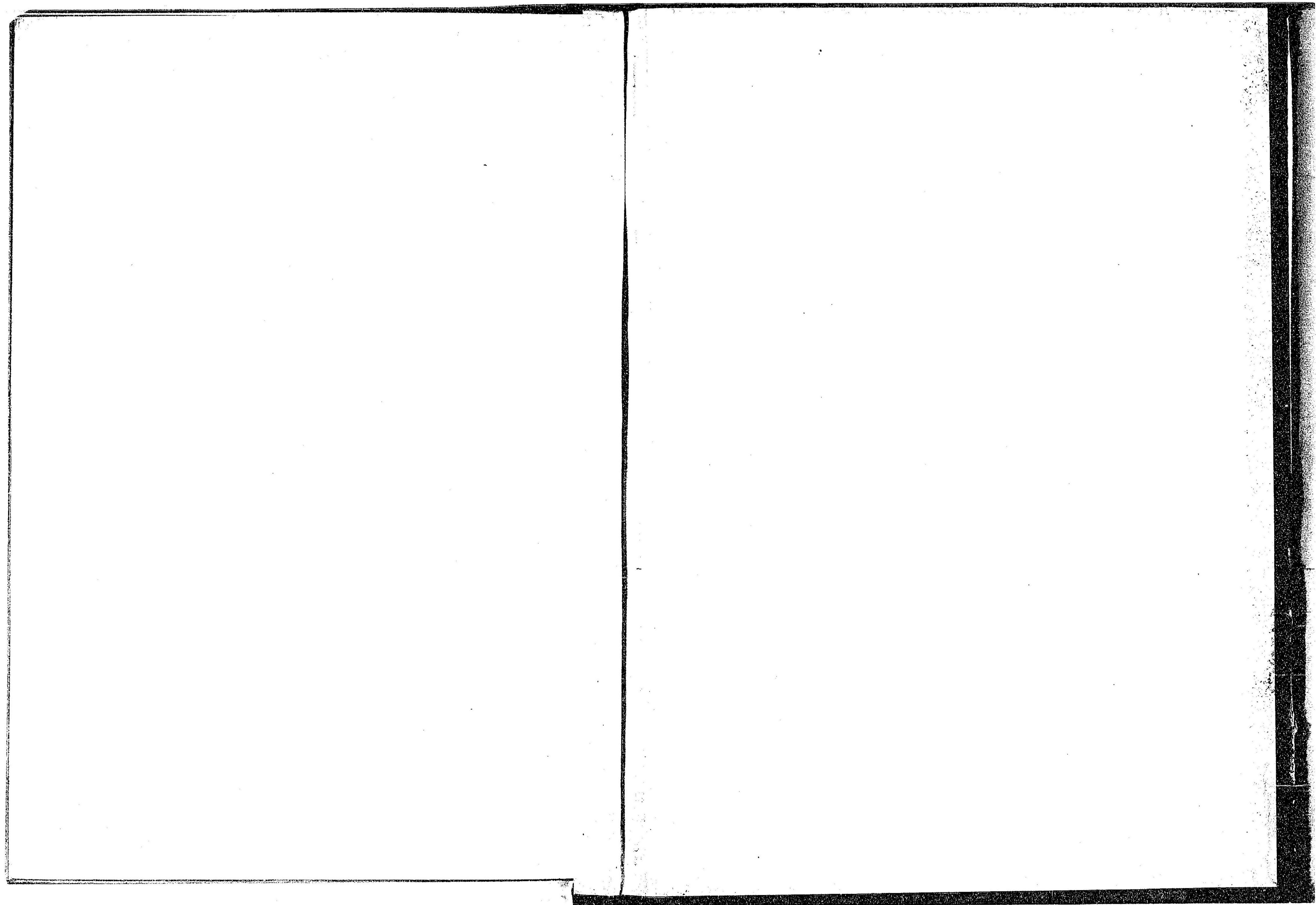


83
65

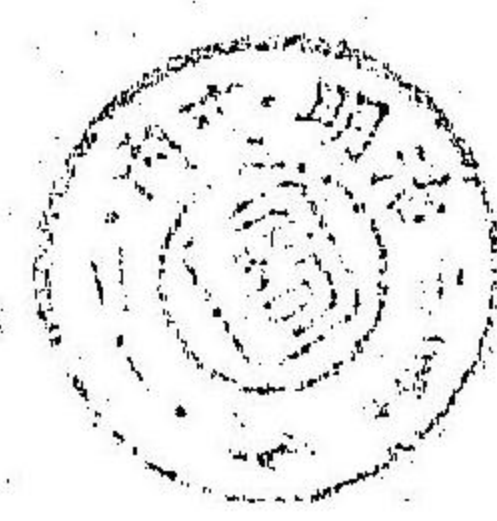
南清航路視察復命書

河野文一編



客年十二月南清各港視察ノ命ヲ奉シ同六日發程臺灣ヲ
經テ各地ヲ巡回シ本年一月廿一日歸社仕候其間四十有
七日ノ日子ヲ費シ候得共各地逗留頗ル短クシテ僅カニ
南清ニ於ケル航運業ノ一斑ヲ窺ヒ得候ニ過キス候依テ
唯聞見仕候モノニ卑見ヲ加ヘ此段復命仕候也

明治三十四年二月廿七日



運輸課書記 河野文一

社長 中橋德五郎殿

南清航路視察復命書

目次

第一	南清航路ノ補助	一
第二	對ダグラスノ方針	四
第三	南清航路ノ配船	八
第四	福州香港線汽船ノ増加	十四
第五	安平香港線ノ狀況	十六
第六	前數章ニ對スル卑見	十七
第七	南清航路ノ統一	十八
第八	福州三都線	十九
第九	福州代理店	廿二
第十	福州淡水間貨物接續	廿四
第十一	各港ノ發着	廿六
第十二	南清各船定期検査	廿八
第十三	各船々長	卅
第十四	各港運賃	卅一
第十五	外國郵便物	卅五

第十六	各船買辦	卅六頁
第十七	船內食事	卅八頁
第十八	船內警備	卅九頁
第十九	支那人下級船員	四十頁
第二十	各部消耗品	四十三頁
第二十一	石炭	四十六頁
第二十二	荷客歩金	四十七頁
第二十三	南清各船事務員ノ必要	四十九頁
第二十四	船員社宅	五十頁
第二十五	香港代理店計算	五十一頁
第二十六	雜件	五十九頁

南清航路ノ復命書

南清航路ノ補助

南清航路ノ事ヲ議究スルニ當リ主要ナル問題ハ航路補助ト對ダグラスノ方針此二者ニアリトス政府ノ對岸航海ヲ保護スル精神當社ノ之ヲ引受ケタル理由并ニ補助金割當等ニ關シテハ其間特別ノ事情ノ存スルヲナルヘキヲ以テ單ニ其利損多寡ニ關シテ發言ヲ費ス必要ナシト雖モ此ニ南清航路將來ノ經營ヨリ論スレハ政府ニ於テ保護ノ精神ニ於テ渝ルヲナキニ拘ハラズ單ニ年月ノ成績ヲ以テ補助ノ方法ヲ變シ若クハ負擔ノ輕重ヲ議スル如キハ却テ保護ノ精神ニ背馳スルノミナラス會社營業ニ加フル不利益實ニ少ナカラストス蓋シ南清航路ノ經營ノ困難ナルハ既往ノ事實ニ徴シテ明カナル如ク航路全体ノ商業ハ二社ノ船舶ヲ容スヘキ餘地ナク一方ニ於テ損失スル如ク他モ亦同一ノ結果ヲ蒙ルコトナリ縱令一旦之レヲ驅逐スルモ何時他ノ侵入スル所トナルスルヤ保シ難キノミナラス苟モ航路ニ於ケル根柢ヲ固クセントセハ航路ニ適合船舶ヲ新造スルノ必要アルガ上ニ陸上其他ニ設備ヲ施スノ必要發生スヘク現時比較的廉價ナル船舶ヲ以テスラ對抗上困難ナルニ若シ新造船ヲ以テセハ益收支ノ上ニ及ボス影響多大ナリト信ス故ニ今日政府ニ於テ航船補助ノ方法隨時變更シ經濟界ノ順境若クハ其他ノ事情ニヨリ收入増加スルヲ見テ既往幾年間蒙リタル損失如何ニ頓着セス更ニ補助金ヲ削減シ若クハ負擔ヲ重クセントスルニ於テハ航業者ノ迷惑一方ナ

ラサルナリ若シ此ノ如クシテ補助金ノ削減ヲ甘諾シ内ハ經費ヲ節減シ外荷客ノ吸收ニ力ヲ盡シ經營百端收支稍見ルヘキモノアルニ至ランカ又更ニ削減ヲ加ヘテ、ニ至ラン此ノ如クシテハ到底事業ノ根柢ヲ固フスルヲ能ハサルノミカ數隙ノ乘スヘキ所又他ノ侵蝕ヲ蒙ルニ至リ當初ノ目的中途ニシテ踏躓スルニ至ルハ火ヲ賭ルヨリ明カナリトス且ツダダラス社ノ如キハ今日スラ補助金ニ關シ容易ニ信ヲ置カサル有様ニテ強硬ノ態度ヲ維持シツ、アル状態ナルニ政府ニ於テ補助金ニ關シ當業者ト年々推問答ヲナス如キハ競争船對抗上策ノ得タルモノニアラス且ツ又南清航路ノ如キハ會社營業上ヨリ斯ク迄モ力ヲ盡サ、ル可ラサル必要ナル航路ニアラス又斯ク迄モ經營ヲ費サ、ル可ラサル程有利ナル航路ニモアラス左アレハ幾多ノ損失ヲ賭シテ迄モ此航路ノ爲メ力ヲ輸ス必要ヲ認メサルナリ現ニ長江航路ノ如キハ其經營困難ノ事由アルニヨリ補助金ノ如キモ十ヶ年据置キノトナリ居レル次第ナルヲ以テ南清航路ノ如キモ苟モ反對ノ船舶ヲ驅逐シテ對岸航業ノ實權ヲ本邦人ノ手中ニ收メントセハ假令其金額ニ於テ現時ヨリ増減スル所アルニセヨ年限ニ於テ短長アルニセヨ兎ニ角一定ノ年限間ハ補助金額ヲ確定シ負擔ニ輕重ナカラシメントテ希望ス然ラスンハ南清航路ニ對スル幾多經營ノ辛酸ヲ嘗ムルモ畢竟徒勞ニ歸スヘキノミ

世或ハダダラス船買収ノ結果ヲ豫想シテ若シ競争ニ打勝チタル曉ニハ有利ナル航路ト優等ナル船舶ハ擧テ當社ノ掌中ニ歸スヘキヲ以テ眼前ノ損失尙ホ忍ブヘシト云フモノアラシ然レモ試ミニ買収ヲ了シタリト假定シ果シテ或者ノ云フ如キ饒多ナル利益ヲ擧ケ得ヘキヤ否ヤダダラス社最近ノ財産目錄ニ其船舶代價百五萬四千弗棧橋

イ等五萬八千弗計壹百一萬二千餘弗ト記載シ居レモ實價ハ二百萬弗ト稱シ居ル趣ニテ目下同社ノ株券ハ四十弗迄下落セルヲアリト雖モ賣買ノ行ハル、ハ少數ナルヲ以テ單ニ株式ノ價格ヲ以テ買収ノ價格ヲ見積ルヲ能ハス香港ニ於ケル日本商人ノ有力ナルモノ、說ニハ百八十萬弗以下ニテハ船舶ヲ賣却スマシト云ヘリ假リニ之レヲ百五十萬弗ニテ買収シタリト見做シ其内ヨリ棧橋等ノ代價ヲ拾萬弗トナシ之レヲ控除シテ百四十萬弗ヲ得之レヲ各船噸數及船齡ニ比例シテ割當ツレハ左ノ如シ

船名	製造年月	總噸數	價格
テールス	千八百六十四年	千九百九十九噸	八萬弗
フォルモサ	千八百八十五年	千九百十七噸	四萬弗
ハイタシ	千八百八十七年	千八百五十六噸	二十六萬弗
ハイルン	千八百八十八年	千二百五十三噸	十九萬弗
ハイムン	千八百九十六年	千三百一十一噸	二十七萬弗
ハイチン	千八百九十八年	二千八十噸	四十六萬弗

但シテールスハ老船ナルヲ以テ特ニ評價シテ假リニ八萬弗トシ他ハ年百分ノ三ノ減價ヲ見積リ按分ニ計算シタリ固ヨリ船舶代價トシテハ頗ル不當ノ觀アリト雖モ自ラ此内ニ航路讓渡ノ價格モ含有スルモノト見テ可ナリ

前記船舶ノ内テールス最モ老朽ニシテフォルモサハ噸數對岸航路命令事項ニ適合セザルヲ以テ用ユヘキハ他ノ四隻ニ過キス之レニ大仁丸大義丸二隻ノ船價ヲ加フレハ

百八十萬弗之レニ棧橋ブーイノ代價ヲ加フレバ百九拾萬弗トナリ更ニ淡水ニ於ケル陸上ノ設備ヲ買收スルノ必要アリダグラス社倍額以上ノ資金トナラシメダグラス會社ハ百萬弗ニ對シテコソ充分ナル配當ヲナシツレ倍額以上ノ資本ヲ以テ果シテ昔時ノ如キ利益ヲ收ムルヲ得ヘキヤ況ンヤ對岸トノ關係ハ漸次減退ノ傾向ヲ視セルノミカ貨客運賃ノ如キモ舊時ノ率ニ回復スルヲ困難ニシテ一方ニハ老朽船ノ負擔アルカ上ニ他方ニハ競争船隨時侵入ノ虞アルニ於テヤ南清航路ニ於ケル Golden age ハ已ニ過去ニ屬セルナリ

且又現時南清航路ノ經營ハ事業尙ホ中途ニアリテ未タ成功セシニアラス淡水香港線安平香港線ニ於ケル成績ハ漸次良好ノ傾向ヲ有セリト雖モ半ハ北清事變ノ影響ニシテ而モ未タ全ク收益ヲ擧グルニ至ラスダグラス船ハ今日全ク退避セルノ觀アリト雖モ尙ホ其勢力ハ未タ甚シク失墜スルニ至ラス單ニ南清航路ノミヨリ論スレハダグラス船ハ猶ホ優勢ノ地步ヲ占メ居リテ目下競争ヲ避ケテ力ヲ養ヒツ、アル有様ナルニ之レヲ以テ未タ當社ノ勝利ト見做スハ大早計タルヲ免レス由來英人ハ事業ニ對スル忍耐ノ感念強キハ著キヲニテ彼レ目下競争ノ爲メ窮迫セリト雖モ何時カ當社カ競争ニ疲弊センヲ期待シツ、アルヲ以テ一朝隙ノ乘スヘキアラハ捲土重來數年ノ經營忽チ其蹂躪スル所トナルヲナシト云フ可ラス此際ニ及ンテ世間ノ非難ハ政府ニ向ハスシテ當社ノ上ニ落チ來ルヲトナラン要スルニ政府ニ於テ航路保護ニ對スル方針ノ確定ヲ見サル間ハ我社ノ南清航路經營ハ到底容易ノコニアラサルナリ

第二 對ダグラスノ方針

南清航路ノ目的トスル所ハ競争船ヲ驅逐シテ對岸交通ノ實權ヲ本邦人ニ收メントスルニアルヘシ而シテ其競争船ニ對抗スルノ方針ハ專ラ之レヲ驅逐シテ自家ノ勢力ヲ扶植セントスルニアルカ或ハ又若々收入増加ノ方法ヲ講シ徐ロニ反對船ノ退避スルヲ待ツニアルヤ換言スレハ對抗ノ方針緩急何レニアルカヲ決センコト是レナリ若シ夫レ後者ニアリトスレハ目下ダグラス社當事者ハ競争ノ苦痛ニ懲リ如何ニモシテ收入回復ノ方法ヲ講セント苦心シ居レル由ニテ三井物産支店支配人ノ語ル所ニヨレハダグラスラブレック商會ノ意見ニハ日本政府ノ商船會社ヲ保護シツ、アルコトハ一般流傳スル所ナレ其保護タル永久ニ持續スヘキニアラス又其保護金ノ如キモ商船會社カ吹聴シツ、アル如キ巨額ノモノニアラス現時日本政府ノ財政ノ窮乏セル折柄斯ル小航路ヲ保護スルコト永續スヘキニアラサレハ商船會社ハ今コソ競争ノ弊ニ懲リ協定ヲ申込ムヘシ當社モ亦競争ハ好ム所ニアラス臺灣トノ航海ハ主位ヲ彼レニ譲リ徐ロニ運賃等ニ關シ協商ヲナシ收入増加ノ方法ヲ講スヘシ云々思フニ其現時配船ノ形跡ヲ見ルニ優等ナル船二隻ハ海防ニ差遣シ福州ニ二隻淡水ニ一雙(一雙ハイムンハ御用船トナリ居レリ)ヲ充用シ社船ニ激烈ナル競争ハ避クルモノノ如シ故ニ此際甚キ競争ノ態度ヲ執ラス船船ノ數モ現時ノ儘トシ航路ノ如キモ甚シキ侵入ヲナサスンハ運賃協定ヲナスモ妙ナラン(彼モ亦好ンテ甚キ競争ヲナスコトナカルヘク當社ハ漸次優等ナル船ヲ以テ之レニ臨ミ荷客ニ對スル取扱ニ刷新ヲ加ヘ着々信用ヲ樹立シテ徐ロニ優者ノ地位彼ヲ去テ此ニ移ルヲ待ツニアリトス要スルニ南清航路ヲ通シテ二社船ノ兩立ヲ容スヘキモノニアラサレハ競争船ハ勢ヒ退避セサル可ラサルニ至ラン

然リト雖モ此方針ニテ進ムキハダグラス社ハ目下海防ニ手ヲ延ハシ競争中ニテ成績見ルヘキモノナシト雖モ香港福州線ハ依然彼ノ利源ニシテ淡水香港線ニ於ケル茶輪出時ハ彼又船隻ヲ増加スルノ餘地ヲ存シ平時ハ彼ハ全ク不定期船ナルヲ以テ當社各航路船ニ對シ便宜ヲ有スルヲ多ク且ツ目下各航路運賃引締レルガ上其一隻ハ御用船タルヲ以テ(汽船ハイムン總噸數千三百一十一噸)借上料一噸一ヶ月二十志(苦痛ノ程度頗ル減セルニヨリ之レヲ屈服セシムルニハ尙ホ幾多ノ歲月ヲ要スヘシ)

附言ダグラス社カ淡水香線安香線ヨリ手ヲ引クヤ新タニ馬尼拉航路ニ利源ヲ發見セントノ議内部ニアリシカレダグラス、ラブレ、ク商會ノレウキスハ支那馬尼拉航業會社ノ重役ニシテ馬尼拉航路ニ關係ヲ有スルシヤ、イヂン商會ノベル、アーピングハダグラス社ノ重役タルヲ以テ馬尼拉航路ヲ競争船ヲラシムルヲ欲セス遂ニ海防航路ヲ擇ヒタリト云ヘリ而シテダグラス船ノ同航路ニ向フヤ東京航業會社及ヒゼブセン商會ノ汽船ハ同盟シテ之レニ當ルヲトシ是迄五分ノ荷主戻シヲ一割ニ改メダグラス船出帆ノ日ニハ兩社ニテ船一隻ヲ出帆セシムルヲトシ頗ル競争ノ態度ヲ執リ居レリ之レカ爲メ運賃ハ香港海防間雜貨一擔四十仙ノモノ三十仙、酒類噸四弗五弗二等二十五弗三等八弗ニシテ三等船客多キハ香港海口間ニテ一航海百人乃至三百人ナリト云フ兩社船ハ本航路ニ長ク航海シ居リテ貨客ノ取扱モ善ク一般ノ評判ハダグラス船ノ上ニアリト云ヘリ

若シ前記ニ反シ對ダグラスノ方針之レカ驅逐ヲ急ニセントスルニ於テハ現時ノ配船

ニ對シ少クモ一隻ノ増加ヲ必要ナリトス蓋シ現時當社船ハ淡水香線ニ二隻安香線ニ一隻福香線ニ一隻ヲ使用シダグラス船ハ淡水香港線ニ一隻「フオルモサ」ヲ使用セルノミニテ淡水香線安香線ノ二線ハ全ク當社ノ掌中ニ收メ得タルノ觀アリト雖モ未タ終局ノ勝ヲ制シタルニアラス元來南清航路ハダグラス社ニ於テハ六隻ノ船舶ヲ使用シ絶ヘス各港間ノ交通ヲ保チツ、アリタルモノニテ就中福州香港線ハ其主ナル利源ニテ淡水輸出茶ノ運賃モ亦收入ノ主要ナル部分ヲ占メタルカ故ニ今日力ヲ淡水線ニ傾注スルヲ止メタリト雖モ茶期ニ及ハ、更ニ船隻ヲ増加スルヤモ保シ難シ現ニ是迄毎年同期ニハ船隻ヲ増加シ一昨年ノ如キハ貨物多カリシト競争開始當時ナリシニヨルベケレハ四五六ノ三ヶ月間ハ毎月十一回乃至十三回淡水ヲ發船セシメ昨年四月ハ六隻五月六月ハ各四隻發船セシメ七月ニハ淡水廈門間五回ノ往復ヲナサシメタル有様ナルヲ以テ固ヨリ其際ニ於ケル輸出ノ現況ニヨルヘシト雖モ茶ノ期節ハ二隻ノ定期船ノミヲ以テシテハ運搬力ニ不足ヲ告グルハ事實ニシテ從テダグラス船侵入ノ餘地ヲ存スルヲトナルヲ以テ同期間ニハ定期船以外ニ一隻ノ船舶ヲ加ヘダグラス船ノ先廻リヲ防止スルヲ最モ必要ナリトス又福州香港線ハ現時尙ホ同社ノ主要ナル航路ニシテ頗ル勢力ヲ有シ當社船ノ先廻リヲ防キ又運賃ヲ引下ケテ顧客ヲ奪フノ手段ヲ廻ラスハ是レ腹背共ニ拮ツノ策ニシテ彼社ニ加フル打撃ノ最モ有力ナルモノダラン左スレハ當社ニ於テモ多少ノ損失アルヘシト雖モ彼レノ苦痛モ亦甚シカルヘク目下僅カニ海防ニ通路ヲ發見シ居レリト雖モ是亦他ノ競争線ナルヲ以テ遂ニ無配當ノ不結果ヲ持續スルヲトナルヘシ此クノ如クハ速カニ輸贏ヲ決スルヲ得テ對抗上頗

ル利益アリト信ス

第三 南清航路ノ配船

南清航路ノ配船ハ今日ノ如ク定期ヲ利益トスヘキヤ又ハ伸縮ヲ有スル定期ヲ利益トスヘキヤ又ハ全然不定期トスルヲ利益トスヘキヤハ講究スヘキ問題ニシテ第一ノ場合即チ今日ノ如ク定期ノ制嚴重ナルモノニアリテハ假令途中ノ碇泊當局者ノ手心ニヨリ多少ノ餘裕ヲ得ルコトアリト雖モ而モ定期ノ爲メ制肘セラル、ト甚シク且ツ碇泊ノ爲メ空シク時日ヲ費シ起點地終點地ノ發着ハ荷客ノ多寡及ヒ積卸ノ如何ニヨリテ左右スルコト能ハス競争船ノ爲メ荷客ヲ割取セラル、ト少ナカラス又第二ノ如ク定期船トシテ各港ニ於テ荷客ノ狀況ニヨリ多少ノ伸縮ヲナスコトセハ頗ル便宜ヲ得ヘキモ尙ホ碇泊ニ空シク時日ヲ費スコトナリ不利益ヲ免レス又第三ノ如ク全然不定期トシ一ヶ月ニ對スル航海度數ノ最低限ヲ命令書ニ記載シ各港ノ發着全ク配船ノ都合ニヨルトセハ大ニ航海碇泊時日ヲ短縮シ從テ航海度數ヲ増加スルコトヲ得ヘク又競争船ノ先廻リヲ幾分カ防止スルコトヲ得ヘシト雖モ此ニ不利益ノ點アルハ即チ今日ノ如キ定期船ニアリテハ各船ノ發着ニ一定ノ間隔アリト雖モ不定期ナルキハ時々社船ノ突合ヲ來シ又或ハ甚シキ間隔ヲ生スルコトアリ又不定期其物ハ日本人ニ不評ヲ來スト是ナリ蓋シ日本人ハ船舶ヲ見ルコト流車ノ如ク定期船ニアラサレハ航路ニアラザル如ク又定期船ナレハ時間ノ遲速迄爭フヲ常トスル有様ナルヲ以テ若シ各船不定期出帆トナサンカ隨所皆其不便ヲ唱ヘ從テ政府ノ不定期船ヲ保護スル所以ヲ非難スルモノ甚多カラシ然リト雖モ第一ノ點ハ配船方法宜シキヲ得ハ甚シキ不利益ヲ來スコトナカ

ルヘク又第二ノ點ハ日本人ノ乗客ハ比較上極メテ少數ナルヲ以テ政府ニ於テ不定期ヲ承認スルニ於テハ他ノ異論ハ願ルニ及ハサルヘシ

又荷客吸收ノ點ニ於テ定期不定期何レヲ利トスルヤヲ研究スルニ南清各地ノ習慣ハ大概船ヲ見テ荷物ヲ積出スルモノニシテ一般ノ荷主ハ敢テ定期船ナルカ故ヲ以テ之レヲ待合ス等ノ感念少ナシ又船客ニアリテモ同一ノ状態ナルヲ以テ不定期トナシタルカ爲メ其航海ニ對スル荷客ハ殊更ニ減少スルコトナシトス

元來定期船ナルモノハ一般ノ交通機關發達シタル地ニ於テ客船トシテハ最モ適當ナレトス南清航路ノ如キ主トシテ支那人相手ノ商賈ニテ其收入ノ主ナルモノ貨物ニアリトスレハ必スシモ定期出帆ヲ以テ自ラ束縛スルハ策ノ得タルモノニアラス且ツ競争船ハ由來全然不定期ヲ以テ對岸ノ交通ヲ保持シ今日ハ同シク不定期船ヲ以テ社船ノ營業ヲ妨害シツ、アルニ於テハ亦不定期船ヲ以テ之レト衡ヲ爭フハ當然ノ策ナリトス

唯不定期船トシテ不便ヲ感スルハ各船碇泊時日ヲ短縮スル爲メ貨物ノ揚卸ニ費用ヲ要スルニアリトス即チ淡水及安平ニテハ税關ノ關係ヨリ着後直チニ解移シ又ハ陸揚ヲ行フヲ以テ揚荷ハ速カニ結了スル傾アルモ(風波ノ際ハ論外トス)香港其他ノ各港ニテハ荷主之レカ引取リヲ行フヲ以テ習慣トシ而モ其引取リハ支那人ナルコト故頗ル緩漫ニシテ香港ニテハ揚三日積一日ト云フ有様ニシテ又福州ニテモ略同様ノ状態ニテ殊ニ同地ハ滿潮時ニ拔錨スルノ必要アルニヨリ速ニ積出ス様督促スルモ支那人ノ緩漫ナル出帆間際ニ至ラサレハ回漕セサルモノアリ依テ事情ヲ説明シテ其手配ヲ速ニ

日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日
	福州		香港					香港			福州			福州		
	着		發			福州		着	香港		香港			福州		
						福州			香港		香港			福州		

トシ礙泊時日ヲ減縮スレハ一隻ノ船舶ヲ増加シタルト同一ノ効力ヲ有スルヲナレハ前記ノ如ク解船費人足賃ヲ要スルモ其收益ハ定期船ニ勝ルヲ萬々ナリトス

附言

過般ダグラス船ハイタン號ハ十二月廿二日福州着廿五日クリスマス當日出帆テ
 ルス號ハ同三十日香港着翌卅一日出帆シタルニ社船明石丸ハクリスマスノ爲メ廿
 六日福州出帆ヲ廿七日ニ延期シ正月ノ爲メ二日香港發ヲ三日ニ延期シタリ
 斯ク不定期船ノ利益ナルカ上ニ競争船ニ於テ常ニ不定期ヲ以テ我先廻リナシ利益
 ナ占取シツ、アル有様ナルヲ以テ荷モ之レト競争シ之レヲ驅逐セントセハ不定期ヲ
 以テ之レニ當ルニアラスンハ對抗ノ効力ヲ薄弱ナラシムヘシ或ハ云フモノアラン今
 日迄定期船ヲ以テ勝ヲ制シタルニヨリ必スシモ不定期ヲ要セサラント然レトモ當初
 ヨリ全然不定期ヲ以テ之レニ當リシナレハ競争船ニ與ヘタル打撃ハ又一層甚シカリ
 シナルヘク社船ノ收入モ亦増加セシナラン唯自ラ定期ヲ以テ束縛シテ利益ハ他ノ壘
 斷ニ委スル如キハ過去ニ於テハ兎モ角モ將來ニ於テハ再ヒス可ラサル拙策ナリトス
 要スルニ南清航路ノ配船ハ不定期船ヲ以テ營業上良方便トシ競争船驅逐策トシテモ
 收入増加ノ方法トシテモ定期船ハ長計ニアラス思フニ定期船ヲ珍重スルハ山來日本
 人ノ感念ニシテ日本人ノ頭ニハ荷モ定期船ナラサレハ航路ヲ開キタル心持セサレ
 南清航路ハ全然支那人相手ノ商賣ナレハ暫ク日本人ノ感念ヲ去リ支那人ノ頭ヲ以テ
 商賣センヲ肝要ナリ

附記

貨物解船移ニ關スル費用
 香港解船 七百八十噸程 一隻一日 十一 弗

船中人足 一 噸 十一 仙
 福州 船 百噸積 一隻一ヶ月 九十 弗
 船中人足 一 個 八 文

第四 福州香港線汽船ノ増加

香港福州線ハ開始以來日猶淺キモ相應ノ荷客アリテ收支ノ計算モ先ツ好結果ヲ收メ居レルカ是ハ主トシテ其使用船舶ノ價格廉ニシテ經費少ナキニ源因スルモノニシテ實際荷客ノ數ヨリ見レハ現在ダグラス社ハハイタン、テールス二隻ヲ使用シ居リテ積荷ノ如キモ約船舶ノ六七分通ニ過キス社船ノ積高モ亦伯仲ノ間ニアリ其積荷ハ香港ヨリノ輸出ヲ大部分トシ福州ヨリスルモノ甚少ナシ而シテ其種類ヲ問ヘハ目下社船ノ積荷ハ石油ヲ大宗トシ其他ハ雜貨ニシテダグラス船貨物ハ比較的優等ナリト云ヘリ目下ダグラス船ノ配置ハ大約一ヶ月間一隻ニシテ二回半又ハ三回ノ往復ヲナシ碇泊ノ時日ヲ減少シ常ニ社船ノ先廻リヲナシ居レリ福州ノ商業ノ主ナルモノハ茶及ヒ材木ニシテ茶ノ輸出ハ近來頗ル衰運ニ傾ケルヲ以テ一般ノ商況頗フル萎靡振ハス貿易ノ發達ハ將來見込甚少ナシ只同地ハ福建浙江ノ首都トシテ人口六十萬ヲ有スル消費地タルヲ以テ輸入品ハ頗フル饒多ナルモ輸出品少ナク航海ハ毎ニ片荷トナリ居レリ福州ニテハ船舶明石丸ノ好況ナルヲ見頼リニ一隻ノ増加ヲ希望シ居レルモ若シ二隻ノ船舶ヲ使用スレハ勢ヒ運賃ヲ低落スルカ積荷ヲ減少スルカノ一ニ居リテ今日ノ如キ好果ヲ得ルヲ頗ル保シ難シトス只單ニ夫レ競争船驅逐ノ爲メ更ニ船隻ヲ増加スルハ一策トシテ見ルヘキモ之レヲ驅逐シ去リテ航路ノ獨占ヲ得ルニアラサレハ收益

ヲ舉クルト覺東ナシト信ス

福州香港線ヲ二隻トナスコニ關シ左ノ一線ヲ新設セバ如何ト云フ說アリ即チ淡水ヨリ厦門ヲ經テ香港ニ至リ香港ヨリ復航厦門ヲ經テ福州ニ至リ淡水ニ回歸スルニアリ斯クスレハ淡水ヨリ厦門ニ至ル茶福州ヨリ淡水ニ至ル材木香港ヨリ福州ニ至ル雜貨ヲ運搬スルコトヲ得頗ル收益ヲ擧クヘシト云ヘリ厦門三井出張所田崎源四郎氏此說ヲ主張シ阿部店長モ同様意見ヲ懷キ居レリ福州淡水間材木運搬ハ多年沙船積タリシモノ急ニ汽船積ニ變更シ得ヘキヤ未タ充分ナル研究ヲ遂ケサルヲ以テ未タ其收益如何ヲ斷言スルコト能ハスト雖モ兎ニ角香港福州間淡水厦門間ノ貨物ハ儘ニ吸收スルコトヲ得ヘシ斯クスレハ何レモダグラス船ノ利源ノ存スル所ナレハ或ハ勢ヒ競争ヲ惹起スルコトナルヘキモ彼レニ加フル打撃ハ小少ニアラサルヘシ今試ミニ其發着表ヲ制スレハ左ノ如シ

淡	福	厦	香	厦	淡
水	州	門	港	門	水
着	發	發	發	發	發
月	日	日	日	日	日
曜	曜	曜	曜	曜	曜
日	日	日	日	日	日
午	午	午	午	午	午
前	後	前	後	前	前
十	九	八	七	六	三
二	一	日	日	日	日
日	日	日	日	日	日
廿	廿	廿	廿	廿	廿
六	五	三	二	一	日
日	日	日	日	日	日

然リト雖モ前記航路ノ如キハ航程迂廻ナルカ上潮ノ干満ヲ見テ出入ヲ要スル淡水福州兩港ヲ控ヘ居ルヲ以テ船舶ノ回着ニ時日ヲ要シ一朝淡水ヨリ輸出茶盛況ヲ告ル場

合ニハ充分ナル運搬ヲナスコト能ハサルヲ以テ競争船驅逐策トシテハ必スシモ本航路ヲ執ルヲ得策トセス全然不定期船ヲ以テ貨物集散ノ機ニ應シテ配船スルヲ至便トス本航路ノ如キハ寧ロ競争終リタル後現時ノ定期船運搬力ノ補缺并ニ收入増加ノ方法トシテ設クルヲ良策ナリト信ス

第五 安平香港線ノ狀況

安平香港線ハダグロス三線中利益最モ少ナキ航路ニシテ淡水ニ於ケル茶輸出ノ如キ主要ナル産物ナク而モ其特産物タル砂糖ハ主トシテ横濱神戸ニ回送セラレ安平ト對岸トノ關係ハ年々薄弱トナル傾向アルヲ以テ同航路ノ形勢ハ見込少ナキカ如シ三井香港支店員ノ説ニ同航路ノ如キハ一ヶ月一回位トシ全ク不定期トシ他ハ沿岸又ハ淡水ニ使用スルコトセハ本船ノ收支見ルヘキモノアラン云々
斯ル事情アルヲ以テ同航路ニ使用スル船舶ヲシテ一ヶ月二回航海ヲナシ收支ヲ償ハシメンニハ全然不定期トシ航海ノ許ス限リ船價少ナキモノヲ用ヒ成ルヘク碇泊日數ヲ減シ安平ノ外ニ打狗ヘモ臨時寄港スルコトトシ一ヶ月二回半乃至三回往復セシメ内一回ハ他ノ航路ニ使用スルコトトセハ結果見ルヘキモノアラン又現時ノ如ク定期日嚴重ナルルハ打狗ニ回船スルモ之レカ爲メ期日變更ヲ得サルコトナリ居ルヲ以テ香港ニテモ打狗揚荷物ノ積取リヲ躊躇スル場合少ナカラス然ラハ之レカ碇泊日數ヲ一日増加セハ可ナラントノ説アレモ安平ハ由來積揚ノ貨物少ナキヲ以テ今日ノ碇泊時日ニテスラ多キニ過クルノ感アルニ平常更ニ一日ノ増加ヲナス必要ナシ要スルニ今日定期ヲ嚴守スルコトハ實際已ムヲ得サルコトナカシ商賣上ヨリ見レハ全ク不利益ノ源

因此ニ存スト云ハサル可ラス

安平ニ於ケル定期船ノ着港ハ大略午前六七時ニシテ着後税關手數ヲ了スル迄ニハ時間ヲ費シ揚荷ハ午後トナル場合少ナカラス然ルニ同港及ヒ打狗ハ午後八午前ニ比シテ風波多ク荷役ハ一ト二ノ比例ヲナシ居ルニ拘ラス午後風波多キ時荷役ヲナスコトナリ爲メニ揚荷ニ時間ト費用ヲ要シ且ツ荷物ノ損傷少ナカラス是レハ本船着後税關吏乗船セハ直チニ解船ニ積移シ税關手數ヲ了シタル上解船ヲ舷側ヨリ解放スルコトセハ大ニ時間ノ節約ヲ得ルノミナラス荷物ノ損傷ヲ輕減スルコトヲ得ヘシ故ニ税關ニ對シ特別ノ允許ヲ受ケ置クコトハ極メテ緊要ナル事項ナリトス

第六 前數章ニ對スル卑見

前數章ニ述ヘタル事項ハ南清航路將來ノ經營上重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ慎重ニ之レヲ討議シタル上之レカ決行ヲ見ルコトヲ希望ス即チ第一ノ問題ニ對シテハ南清航路ノ經營ハ全然商船會社ニ一任シ競争船ヲ驅逐シテ對岸交通ノ實權ヲ收メシムルヲ目的トシ其航路及ヒ航海度數ハ現時實行セルモノヲ以テ最低限トシ其他ハ便宜會社ナシテ施設スル所アラシメ現行ノ補助金ハ少クモ五ヶ年間繼續ノコトニ請願センコトヲ希望ス又第二ハダグロス船ハ今日尙ホ未タ勢力ヲ失墜セス機會ノ乘スヘキアラハ之レカ恢復ヲ圖ラントシツ、アルヲ以テ現時ノ配船ヲ以テセハ社船運搬力ノ不定ニ乘セラル、ノ虞アルニヨリ此際更ニ一步ヲ進メテ壓力ヲ加フルヲ得策ナリト信ス即チ現時ノ定期船ヲ全然不定期トナスカ又ハ定期船以外ニ一隻ノ不定期船ヲ増加スルカ(福州香港線ニ使用スルカ各航路ニ對スル臨時船トスルカ)抑モ一隻ノ船舶ヲ増加シ各

航路學テ不定期トナスカ何レモ夫々利害長短ノ點ニ於テ多少ノ差異アリト雖トモ兎ニ角競争船ニ與フル打撃タルハ疑ナシトス若シ現行ノ儘持續スルコトセハ所謂敵ヲ緩フスルモノニシテ對抗上頗ル不得策ナリト信ス

第七 南清航路ノ統一

南清航路ノ單ニ淡水香港線ニ限ラレタル當時ハ淡水支店之レカ統轄ノ任ニ當リタルハ已ムヲ得サルコトナリト雖モ今日ノ如ク安平香港線福州香港線ノ開始セラレタル今日淡水ヨリ之レヲ監督スルハ聊カ失當ヲ免レス各船店現時ノ狀況ヲ察スルニ其業務ノ方法畫一ナラス又之レヲ監督スル方法モ亦區々ニシテ淡水香港線ハ淡水直轄ノ下ニアレバ福州香港線ハ全ク間接ナルヲ免レス安平香港線ノ如キハ全ク獨立セル支店下ニアリテ全体ニ對スル精神徹底セス事々物々抵牾セルノ感アリ且ツ從テ責任ノ區域モ頗ル明瞭ヲ欠キ不利益少ナカラス今其一例ヲ舉グルニ今回安平九交替ノ件ニ付キテハ安平支店ハ安平香港線ニ於ケル若クハ安平ニ於ケル利害ヲ見テ南清全体ノ利害ニ及ハス而シテ淡水支店ハ南清全部ニ對シ監督ノ責ニ任スルヤト云ニ安平香港線ハ其度外ナリト稱シテ多ク顧ミサル有様ニテ之レヲ統轄スル所以ノ道全ク備ハラスト云フヘシ當社ニハ計算整理ノ趣旨ヨリ香港ニ計理課出張所ヲ設置スルコトナリ居レトモ寧ロ今日ノ急務タルモノハ營業ノ監督ヲ香港ニ置き各店船ノ業務ヲ統一ニスルニアリトス左スレハ南清ニ於ケル總テノ中樞タル香港ノ商機ヲ察スルニ便ナル上競争船ノ事情ヲ詳ニシテ營業方法ヲ講スルコトヲ得ルノミナラス對ダグラス上大ナル便益アルハ疑ナ容レス然ラズンハ南清航路ノ經營ハ充分ノ發展ハ望ム可ラサルナリ

第八 福州三都線

福州三都線ノ開始ニ付テハ其間特別ノ事情ノ存スルコトニテ單ニ商賈ノ關係ノミナリテ其利損ヲ説クヘキニアラサルモ此ニ尙ホ一言ヲ試ミタキハ元來日本政府ニ於テ軍事外交上ノ關係ヨリ三都ヲ通商港トシテ開港ヲ求メタルニヨリ日本政府又ハ人民ハ何等カノ施設ヲナス必要アリ政府ノ兩地間ニ定期航海ヲ命シタル亦之レニ外ナラサルヘシ而シテ三都ノ地物産ナク又貨物集散ノ市場トナル資格ナクンバ兎モ角モ現在其附近福寧福安地方ハ茶ノ產地ニシテ年々福州ヨリ輸出スル茶參拾萬担ノ内貳拾萬担ハ此地方ヨリスト云フ斯ル有利ナル産物ノ存スルニ於テハ之レヲ誘導シテ三都ニ集中シ三都ヲ以テ名義ノミナラス實際ニ於テモ通商港トシテ日本主要ナル地歩ヲ占有セリトセバ政略上ニ於テモ大ニ得ル所アルナラスヤ然ルニ定期航路ノ現狀ハ單ニ二百噸足ラスノ汽船ヲ以テ之レニ充用スルコトナリ居ルヲ以テ茶時ニハ充分之レカ運搬ヲナスコト能ハス又茶輸出ナキハ厘金稅關稅ノ關係アリ土貨ハ皆沙船積トナリ居リテ一ヶ年ノ大半ハ空船ヲ以テ往復スルコトナリ航路ノ利益ハ舉テ他ノ壟斷ニ委シテ顧ミサルノ有様トナリ居レリ斯クテハ政略上ヨリ論スルモ全ク無意義ノ航海ト云ハサル可ラス一ヶ年ヲ通シテ航海ヲナサ、ルカ故ニ施設トシテ欲クル所アルニアラス通商ノ實權ヲ得テコソ開港ノ實ヲ舉ケタルナレ、故ニ現時一ヶ年ノ定期航海ハ斷然廢止シ茶輸出期間即チ五月ヨリ九月迄五ヶ月間汽船總噸數七百噸ノモノ一隻ヲ以テ一ヶ月四回往復ノ不定期船ヲ開設シ一ヶ年ノ補助金ハ前記ノ日數ニ割當テ船主ハ之レニヨリテ三都ニ倉庫及倉船馬尾ニ倉船等ノ設備ヲ施シ茶稅立替ハ臺灣銀行ヲ

シテ街ニ當ラシメ福寧茶商ト連絡ヲ通シ之レヲ三都ニ吸收シ之レヲ福州ニ運搬スル
 トトセハ三都ニ於ケル航業ハ全ク日本人ノ手ニ落ツルコトナルヘシ況ンヤ又流船業
 トシテノ收支ノ結果ハ之レヲ一ケ年海龍丸ヲ使用スルト比較シテ月黠ノ差アルヲ見
 ルニ於テナヤ今三都福州間茶運搬ニ對スル收支概算左ノ如シ

三都線收支計算書

- 一 福州ヨリ輸出スル茶ノ總量ハ年々異同アレヒ一ケ年三十萬担トシ福寧地方ヨリ
 スルモノ二十萬担ヲ占ムト云フ左スレハ三都ニ集中シ得ヘキモノ總額四十萬ハ
 一フ、チエスト(五十斤入)トナル計算ナリ今之レヲ流船積トナスナ極内輪ニ見積リ
 十五萬ハ一フ、チエストト假定シ計算ス
- 一 運賃ハ一昨年三都福州間一箱「ハ一フ、チエスト」七十仙昨年海龍丸六十仙(但内二十
 仙茶税立替ノ利息ニ宛テタリ)ナリシヲ内輪ニ積リテ實收四十仙トス
- 一 茶税立替ハ臺灣銀行ニ交渉シ四萬箱即チ二萬担ニ對スル税金五萬兩之レヲ百五
 十三弗八十四仙替トシ七萬六千九百二十弗之レヲ七萬七千弗トシ一ケ月百分ノ
 一、五ノ利息ヲ支拂フモノトシテ一ケ月千五百五十五弗トナル
- 一 設備ヲ要スルモノハ三都ニ荷船(カゴゴトボート)三千箱積載ノ分五隻馬尾ニ三隻
 計八隻此費用買物ニテ一隻五百弗新造千二百弗先ツ總額七千五百弗ヲ要スルト
 シ之レヲ五ケ年償却トシテ一ケ年千五百弗修繕費一ケ年七百五十弗備人足一隻
 一ケ月廿五弗八隻一ケ年千九百二十弗トシテ算出ス
- 一 船舶ハ總噸數七百噸登簿噸數四百五十噸ノモノトシ隅田川丸ヲ標準トシ計算ス

- 一 航海ハ五月ヨリ九月迄五ケ月トシ積込一日航海往復二日揚荷一日豫備二日計六
 日一ケ月五回航海ヲナシ五ケ月間廿五回外ニ回航回歸ノ爲メ各十五日ヲ加ヘ總
 計六ケ月ヲ以テ營業期日トシテ算出ス
 - 一 石炭消費高ハ日本炭ニテ一晝夜九噸噸五圓基隆炭ニテ十三噸噸十弗ヲ以テ計算
 ス(福州ニテハ一萬斤五十七弗五十仙)茶積入人足三都ニテ九厘福州ニテ八厘領事
 手數一回一弗五十仙三都税關手數三弗七十五仙水先料ハ入港ノミ備入ノコトシ
 十三呎一呎五弗トシテ計算ス
- 收 入
- 一金六萬圓也
 - 一金一千圓也
 - 計金六萬一千圓也
- 支 出
- 一金一萬七千二百二圓也
 - 一金三千五百九十圓也
 - 一金四百八十圓也
 - 一金一千七百五十五圓也
 - 一金四千七百七十圓也
 - 一金五千百圓也
 - 一金五千七百七十五圓也

茶十五萬ハ一フ、チエスト一箱四十仙ヲ以テ算出ス
 乘客一回四十人一人一弗二十五圓海龍丸平均數ニヨリ算出ス

船舶保險積金償價印修繕費店費船員給料食料各部需用品
 費隅田川丸一日九拾參圓七拾八錢ナルヲ九拾四圓トシ百八
 拾三日間ニ乘シ算出ス
 回航回歸ノ爲メ各十日一日消費九噸噸五圓三都間航海基隆
 炭十三噸噸一噸十弗ヲ以テ計算ス
 清國噸稅登簿噸數四百五十噸噸四八ケ月分七十五兩ヲ以
 テ計算ス
 福州水先料二十七回入港ノ際ノミ備入トシ十三呎ト見積リ
 一呎五弗ニテ計算ス
 カゴゴトボート買入費修繕費維持費
 茶十五萬箱倉船及ヒ本船積込船中人足賃三都福州間地分
 立替金利子五ケ月分

一金三十七圓五十錢也
 一金九十三圓七十五錢也
 一金壹千二百圓也
 一金五百圓也

福州領事手數料
 三都稅關出入手數料
三都へ社員一名出張船給及ヒ旅費一ヶ月二百圓
 諸 雜 費

計金三萬九千九百三圓廿五錢也
 差引利益金貳萬一千九十六圓七十五錢也

弗ト圓トハ先ツ同一價トシテ計算シタルモノナリ
 右ハ内輪ニ積リタル概算ニテ收入ニテハ數量及ヒ運賃ニ増加ノ見込アリ經費ニ於
 テハ石炭水先料人足貨其他ニ於テ節約ヲ加フヘシト信ス
 以上述ヘタル如ク航海ニ對スル計算ニ於テ有望ナルカ故ニ苟モ三都線ヲ實行スル
 トナレハ規模ヲ大クシテ日本人ノ施設トシテ見ルヘキモノヲ開設セン
 日ノ海龍丸ノ航海ノ如キ無意義航海ハ寧ロ廢止スルノ勝レルニ如カサルナリ

附 言

一 昨年ハ海蘭號三都福州線ヲ開始シ八萬箱ノ茶ハ三都ニ集中セシモ經營ノ方法
 ナ誤リタルヲ以テ積載セシハ六千箱ニ過キスシテ事業全ク失敗シ昨年ハ海龍丸
 及ヒ福安號二隻航海シタルモ已ニ半ハ茶期ヲ經過シタルヲ以テ共ニ結果良好ナ
 フサリキ

第九 福州代理店

福州代理店ケイブトーマスハ頗ル業務ニ熱心ナル外見アレモ元來狡猾ニ過ルトテ外

國人仲間ニモ評判頗ル宜シカラス近來福州ニテハ日本人ノ頗ル勢力ヲ有スルニヨリ
 二三ノ有力者ニ取入りテ頗ル歡心ヲ得タル模様ニテ元來海運業ニ對スル知識經驗ハ
 如何ヤト思ハル筋頗ル多ク其謂フ所ハ定見ナキモノ、如シ近來ハ當社代理店ヲ引受
 ケテヨリ頗ル信用ヲ回復シタリト云ヘリ又支那人ハ一般外國人ヲ厭忌スル傾アルカ
 上福州人ハ同店買辦ノ廣東人ナルヲ以テ商談ヲナスヲ厭ヒ同地荷主ハ直接出張員ニ
 向テ積荷ヲ交渉スル模様ナリ兎ニ角福州代理店ハ之レヲ廢シテ寧ロ獨立ノ出張店ヲ
 設置スルヲ得策トス然レモ同地出張員ノ說ニテハケイブトーマスハ同地領事ノ推薦
 ニ出テタルモノニシテ常人モ目下業務精勵ナルノ模様見ユルヲ以テ今急ニ解雇ノ相
 談ヲナスハ却テ彼レノ反撥ヲ來シ種々面白カラサル結果ヲ來スヘシ過般認可ナリタ
 ル五十圓増額ノ件ニ對シテハ今別ニ顧問云々ノ交渉ヲ須キス其儘増加ノ旨ヲ通スル
 ナ得策トスト云ヘリ是ハ道理アルトニシテ贊成ヲ表シタリ兎ニ角期限ノ盡クルニ及
 ンテ出張店ヲ設置スルトトセハ別ニ異存ヲ唱フルノ辞ナカルヘシト信ス
 又福州ハ福州香港線ノ起點地若クハ終點地タルカ上三都興化兩線ニ對シテハ之レカ
 監督ノ地ニ立ツモノナレハ最早獨立ノ出張店トシテ本社ニ直轄セシムルヲ可ナリト
 ス今日ノ如ク事務ハ一々淡水支店ニ稟承シ又其決ヲ本社ニ採ルトトナスハ事務ノ重
 複ヲ免レス本社モ亦枝線路ニ對シテハ事情ヲ知悉セサルトトナリ不利益少ナカラス
 寧ロ獨立店トシテ福州香港線ニ對シテハ香港監督ノ節制ヲ受ケ他ノ二線ニ對シテハ
 自ラ責任ヲ負擔スルトトスルヲ得策トス現時ノ出張員樋口茂助氏ハ英語ニ通シ事務
 ニ練達セルヲ以テ出張店設置ノ曉ニハ主任トシテ其責ニ當ラシメ且ツ別ニ一名ノ會

計員ヲ差遣シ其業務ヲ補助スルコトセハ事業ノ進捗ニ差支ナシト信ス
 馬尾汽船碇泊地ト南臺トノ間九湮ハ船客送迎ノ爲メ小蒸汽船一隻設置ノ必要アリ現
 時ハ毎回借入船ヲ以テ之レニ充用シツ、アリ小蒸汽船一回往復十弗二時間以上停船
 スルキハ一時間毎ニ二弗宛ヲ徴收ス故ニ汽船一回寄港ニ大約三十弗ノ經費ヲ要シ汽
 船二隻一ヶ月各二回宛寄港スレハ百二十弗ノ借船賃ヲ支拂ハサル可シサルコトナル
 ヘシ今小蒸汽船ヲ置クハ獨立ノ經濟ヲ維持スルコト能ハサルモ設備ノ一トシテ一隻ノ
 小艇ヲ置クコト最モ必要ナリトス

福州出張店經費概算

但シ三部興化ニ於ケル費用ヲ含有セズ

一金五十弗

一ヶ月家賃

一金二百五十弗

店員二名給料

一金五十弗

買辦給料 外ニ歩金ヲ交付ス

一金百弗

郵便電信料、筆紙墨、廣告料、苦力賃

一金十五弗

轎夫二名并ニ衣類等費用

一金六十弗

小蒸汽船一ヶ月四回借入賃概算

計金五百貳拾五弗

第十 福州淡水間貨物接續

福州ヨリ淡水ニ輸入スル貨物ヲ廈門ニ於テ接續スルコトハ過般淡水丸ヲ以テ淡水行材
 木ヲ試験的ニ實行センカ積揚ニ時間ヲ費シ兩船共一日ノ遅延ヲ來シ結果良好ナラサ
 リキ其接續費ハ大約左ノ如シ

解移シ	船中人足	噸	十二仙半
本船移シ	船中人足	同	二十五仙
解船賃	同	同	八十仙
同留リ	六日間	同	六十仙
計金一弗七十七仙半			

斯ク接續ノ結果良好ナラサリシヲ以テ今後ハ淡水香港線汽船カ甲板ニ積載シ得ル丈
 ケ即チ凡ソ三十噸ハ隨時接續スルコトナスヘシト決シタリト云ヘリ材木ニテモ接續
 不完全ナリトスレハ雜貨類トナリテハ接續ニ費用ヲ要シ且ツ自然損傷中品脱漏等ノ
 一起ルヘキヲ以テ接續ノ方法ヲ完全ニ行ハンニハ倉庫船ヲ設クルカ又ハ棧橋倉庫ヲ
 有スルカノ設備ヲ必要トス福州淡水間貨物ハ多カラサル見込ナルヲ以テ之レカ爲メ
 急ニ倉庫ヲ借入ル、程ニモ及バザルヘシ若シ又前章ニ述ヘタル如キ航路ヲ開設スル
 コトナレハ福州淡水間ハ接續ヲ要セサルヘシ左ナクンハ他日廈門ニ於ケル碼頭及倉
 庫ノ設備完成スルヲ待ツコトナリトス
 元來廈門ハ多數ノ人口ヲ有スル消費地ニアラスシテ單ニ貨物集散地タルニ過キス其
 輸入スルモノハ皆漳州泉州等ヲ經テ内地ニ入り内地ヨリ出ツルモノナルヲ以テ此地
 ニハ倉庫又ハ棧橋倉庫ヲ設クル必要アリ殊ニ上海トノ航路ヲ開カントセハ最モ其必
 要ヲ感スヘシ現時ノ居留地ニ近接シテ我カ專管居留地ノ永租權ヲ得タルニヨリ之レ
 カ前面ノ海上ヲ埋立テ水深廿四尺ノ所迄突出シ碼頭ヲ築キ約壹萬坪ノ地ヲ得ルコトナ
 ルヘシ此工事落成セハ汽船荷客積卸ニ便益ヲ得ヘク聞ク所ニヨレハ臺灣總督府ニ於

テモ前記ノ經營ヲ引受ケ倉庫碼頭ノ工事ヲ完成スルノ意アリト云ヘリ左スレハ上海厦門間ノ航路ヲ開クニ當リ大ナル便利ヲ有スルコトナルノミナラス福州淡水間ノ接續モ現時ノ如ク費用ヲ要セサルヘシ
現時接續ニ用ユル解船ハ材木ハ支那人所有ノ六噸積ノ解船ニ積込ミ雜費ハ臺灣記所用ノ二十五噸積解船ニ積ムコトナリ居リ其費用左ノ如シ

六噸積解船	解船	貨	一噸	八十仙
留	貨	一隻	一日	六十仙
二十五噸積解船	樟腦	壹箱	四仙	
	燐寸	全	四仙	
	藥材	全	三仙	
	雜貨	全	三仙	
	麥豆	壹袋	二仙	
	酒類	壹箱	二仙	

前ノ記解船一隻ニ對シ「アツタツチングヒ」トシテ最初一日二弗翌日四弗其翌日六弗日數ニヨリ倍加スルコトナリ頗ル費用ヲ要ス又竊盜等ニ關シ解船主ハ充分ナル注意ヲナスト雖モ之レニ對シ責任ヲ負擔スルコトナシト云ヘリ

第十一 各港ノ發着

ダグラス會社ニ於テハ汽船ノ速力ヲ保チ各港ノ發着ヲ機敏ニスル爲メ大概四ヶ月目ニハ入渠セシメ船底ヲ掃除スル趣ナルカ是ハ各港ニ於ケル事情ノ然ラシムル所ニシテ社船モ成ルヘク此方針ヲ執ルヲ可ナリト信ス然ラスンハ航海ニ時日ヲ費シ商機ヲ失フ不利ヲ招ケハナリ
汕頭ノ如キハ「ジユガロー」附近水路狹クシテ岩礁及ヒ沙洲アリ夜間ノ通航頗ル危険ナリ故ニ汽船ハ大概午前入港シテ午後出港スルヲ常トス汽船ノ香港ヲ出ツル大概午前八九時ニシテ汕頭ニ至ル約二百海里午前六時頃入港スルヲ得從テ午後出帆スルコトヲ得レモ若シ速力遅クシテ北東ノ信風ニ向フキハ入港遅レ稅關手數ヲ了シ積揚ヲナスコトハ午後トナルヘシ汕頭厦門ノ如キハ共ニ船便多キ地ナルヲ以テ船ヲ見スシテ出荷ノ用意ヲナスモノ稀ナルヲ以テ平常汽船入港セルヲ見ルヤ積出ノ用意ヲ始メ稅關手數ヲナスハ正午頃トナリ稅關ハ午後爲メ一時半迄休息シ手數ヲ結了スル迄ハ時間遅レ解船ヲ回漕スルハ午後三時四時トナリ遂ニハ港口ノ通過ハ夜間ニ至ラサルヲ得サル場合往々之レアリ各船之レカ爲メ代理店ニ對シ苦情ヲ唱ヘ居レルモ代理店モ亦荷主ヲ如何トモスルコト能ハス故ニ前述ノ場合遲着シテ積荷多數アルキハ必ス一口ノ碇泊ヲ要シ又ダグラス船ニ先廻リセラル、不利益ヲ蒙ルヘシ
又厦門ヨリ福州ニ至ルニモ福州ハ必ス晝間ノ滿潮ニ入港セサル可ラサルニ若シ厦門ヲ出テ、福州ニ至リ午前ノ滿潮ニ達セサレハ翌朝迄待タサル可ラス僅カニ一時間ノ差ニテ入港翌日トナルコトアリ現時ノ定期ニテハ福州入港土曜日ナルヲ以テ一日延期スレハ日曜トナリ稅關ノ手數ヲナスコト能ハス結局二日ノ損失ヲ招クコトナルヘシ

又安平香港線福州香港線汕頭ヲ出テ、香港ニ至ル大概土曜日ノ午前ナルヲ以テ若シ香港ニ遲着スルハ本船ヨリ郵便物ヲ陸揚スルモ配達ヲナサス翌日ハ日曜日ナルニヨリ受荷主ノ書狀ヲ受取ルハ翌々日トナリ爲メニ揚荷積荷共頗ル遲延ヲ來スヘシ(前記ノ理由ニヨリ定期日變更ヲ思考シタレ得ルコトナクシテ止ミタリ)兎ニ角汽船入渠ノ度敷チ多クスルハ商略上大ニ利スル所アルノミナラス船体保存ノ點ヨリスルモ頗ル經濟ナリト信ス

第十二 南清各船定期検査

南清航路各路ノ定期検査ハ是迄受檢ノ順序一定シ居ラザリシ爲メ配船上少ナカラザル支障ヲ生ジタルコトアリシガ是等ハ可成其手順ヲ一定シ置クヲ得策トス即チ各航路現時ノ通り二週間一回ノ航海ヲナスモノトセバ六ヶ月ニ一回宛ノ剩餘ヲ生スル筈ナリ故ニ之レヲ以テ自由航海トシ此期間ヲ以テ受檢ノ期ニ充ツルコトシ船舶ハ内地ニ回航スルハ時日ヲ要スルヲ以テ臺灣ニ於ケル官衙ノ検査ヲ受クルヲ便トスルコトナレハ淡水香港線安平香港線汽船ハ淡水ニテ受檢スルコトシ且ツ入渠ヲ要スル場合ニハ香港ニテ入渠シ「ロイド」サアベア「」ノ検査ヲ受ケ其証明ヲ提供シテ検査ヲ省略スルコトトシ福州香港線及三都線興化線ハ外國ノミノ航海ナルヲ以テ内地規則ニヨリ受檢ヲ要セザルモ何レモ總督府命令ノ下ニ航海シツ、アルヲ以テ特ニ受檢ヲ必要ナリトセバ福香線ト同シク淡水ニ於テ受檢スルコトトシ三都線及興化線汽船ニアリテハ船体小サク臺灣海峡ノ航海困難ナルヲ以テ馬尾ニ於ケル「サトベヤ」ノ検査ヲ經テ其証明ヲ提供スルコトトセハ頗ル便利ナリト信ス此件ニ付テハ豫メ當局ニ事情ヲ説明シ可成

便宜ノ方法ヲ定メ配船上ニ支障ヲ來サ、コソコトヲ希望ス

第十三 各船々長

南清航路各船々長ハ何レモ業務ニ勉強シ別ニ非難ノ聲ナキノミカ漸時好評ヲ博シツ、アル趣ナルカ只信用ノ程度未タ外國人船長ニ及ハサルコトハ深ク遺憾トスル所ナリ蓋シ外國人ノ技術必スシモ日本人ニ優レルニアラサルベケレハ外國人ノ船長ハ大概長ク同一ノ航海ニ從事シ縱令十年熟知ノ航路ナルモ而モ規律ヲ嚴行シ事ヲ忽諸ニ付セス職務ニ忠實ナルハ實ニ日本人ノ比ニアラス船内ノコトハ悉ク船長ニ於テ監督シ身多忙ナルニ拘ハラス居常客ニ接シ懇到ニシテ「從容」ラサルノ態度アルニ至リテハ實ニ歎美スルニ餘リアリ日本人ノ常トシテ「一タヒ」海外ニ出ツル速ニ多ク金錢ヲ懐ニシテ故國ニ歸ラントスル感念強ク之レカ爲メ職務ニ對シテハ一時的ノモノナリト見做シ萬事怠慢多ク斯業ニ忠實ナルモノ少ナシ然ルニ彼レ外國人ハ其船ヲ家トシ航海ヲ眞ノ職務トシ専心之レニ從事シ十數年同一ノ航海ヲナシ而モ倦マス海底ノ深淺潮流濃霧ノ變皆熟知シ事ヲ萬一ニ誤ジサルヲ致ス日本人ノ信用外人ニ及ハサル亦宜ナリトス

前記ハ只船長ニ對シテノミナラス他ノ士官ニ付テモ同様ナルヲ以テ船員ハ可成變更セサルヲ可トス臺灣海峡ハ頗ル危險多ク福州廈門汕頭淡水ノ港口及ヒ海壇ノ水路皆最モ戒心ヲ要スル場所ナルヲ以テ航海ヲ熟知スルコト最モ必要ナリ又現時各港水先人ヲ使用スルハ淡水廈門福州ノ三港ナルカ廈門ハ情實上ヨリ淡水ハ滯筋ノ變遷多キニヨリ共ニ已ムヲ得サルコトナレハ福州ノ如キハ船長水路ヲ熟知セハ敢テ水先人ヲ要セ

ス現ニダグラス船及ヒ招商局船ノ如キ水先人ヲ使用スルコトナシ且ツ同港ハ水先人二人乃至三人(現時ハ二人)ニ過キサルヲ以テ時ニ水先人ヲ使用スルコトヲ得サル場合アリ又信風強クシテ波浪高キルハ海嶺海峡ヲ通過スルノ必要アルヲ以テ航路熟知ノ人ヲ用ユルハ最モ緊功ナルコトナリトス左スレハ自然費用ノ節減ヲモナスコトヲ得ヘシ福州水先料頗ル高ク一呎五弗出入平均十五呎トセハ一回出入百五十弗一ヶ年二十四回往復セハ三千六百弗二隻ニテ一ヶ年七千二百弗トナル計算ナリ

斯ク船員ヲシテ長ク同一ノ航海ニ従事セシメントセハ可成之レヲ獎勵スルノ方法ヲ設ルノ必要アリ現行ノ俸給給與ノ規則ニテハ俸給ハ其人ノ功勞伎倆ニヨリ進級ノ道アレハ航路ニ對スル手當金ハ一定シテ動ス可クサルコトナリ居レルカ素ヨリ俸給ハ單ニ年限ヲ以テ増加スルコト困難ナレハ船員ヲシテ長ク其地ニ留マシムルニハ手當年限割増ヲ附スルヲ以テ頗ル得策トス左スレハ俸給給與相待テ大ニ海員獎勵一助トナルニ庶幾カラシカ

今試ミニ海員手當割増表ヲ作り參照ニ供ス

船長	最初二年				三年以上		五年以上	
	一等運轉士	二等運轉士	三等運轉士	機關長	一等機關士	二等機關士	三等機關士	
五五	四五	三五	二五	四五	三五	二五	一五	
七五	六〇	三五	二五	三五	二五	一五	一〇	
八五	三五	二五	一五	三五	二五	一五	一〇	

一等機關士	二等機關士	三等機關士	事務員
三五	二五	一五	二五
五〇	三五	二五	三五
七〇	四五	三五	四五

第十四 各港運賃

南清各航路ニ於ケル貨物運賃ハ北清事變ノ影響ヲ受ケ香港其他頗ル引締リ居リテ且ツダグラス社船減シテ競争ノ激シカラサルヨリ一般運賃ハ騰貴セリ目下社船トダグラス船ト比較スルニ殆ント大差ナシ詳細ニ涉リテハ各店ニ調査ヲ依頼シ未タ回答ニ接セサルヲ以テ自ラ取調ヘタルモノヲ以テ比較スルニ左ノ如シ

福州 香港 間

ダグラス船	社船	船定額表
乾菓 一個	乾菓 一個	六五〇
乾菓 一個	乾菓 一個	六〇〇
乾菓 一個	乾菓 一個	八〇
乾菓 一個	乾菓 一個	六〇
茶 一箱	茶 一箱	一五三〇
茶 一箱	茶 一箱	一七〇
干魚 一個	干魚 一個	一五〇〇
綿糸 全	材木	一五五〇
雜貨 一擔	雜貨 一噸	六五〇

香港福州間

ダグ	ラ	ス	船	社	船	定	額	表
阿片	一箱	七、〇〇	阿片	一箱	七、〇〇			
綿糸	一個	一、〇〇	綿糸	一個	一、〇〇			
雜貨	一噸	五、〇〇	雜貨	一噸	五、〇〇			六、五〇
石油	一箱	一五	石油	一箱	一五			
牛角	一個	七〇	牛角	一個	四〇			
香木	一擔	四〇	香木	一擔	四〇			
燐寸	一個	一、〇〇	燐寸	一個	八、七五			八、〇〇

香港安平間

ダグ	ラ	ス	船	社	船	定	額	表
麥粉	一袋	二、三	麥粉	一袋	二、〇			一、〇
石油	一個	二五	石油	一個	二八			三、〇
藥材	一個		藥材	一個	六〇			

香港淡水間

ダグ	ラ	ス	船	社	船	定	額	表
米及大豆	一擔	二、四	米	一擔	二、〇			三、〇

淡水香港間

砂糖	一擔	四〇	砂糖	同	二、二			三、〇
石油	一箱	三〇	石油	一箱	二五			三、〇
麥粉	一袋	〇七	麥粉	一袋	〇七			一、〇
藥材	一噸		藥材	一噸	五、〇〇			

ダグ	ラ	ス	船	社	船	定	額	表
茶	一箱	一六	茶	一箱	一六			二、〇
海草	一個	一五	海草	一個	一五			二、〇
茶莖	一袋	二〇	茶莖	一袋	二、二			
硫黃	一擔	一五	硫黃	一擔	一五			二、〇
雜貨	同	三〇	雜貨	全	三〇			六、〇〇

ダグラス船ハ社船ト突合フキハ運賃ヲ引下ルヲアリテ一定セス當社船ノ福州香港間ノ運賃ハ割安ノ感アル多少引上ノ餘地アルヘシト信ス尤モ同地ハ輸出少ナク又ダグラス船ノ勢力尙多キヲ以テ急ニ斷行スルヲ難カランカ、安平ニテハ積出港ノ商況モ察セス又代理店ニ交渉スルヲナクシテ石油及ヒ麥粉ノ運賃ヲ特約シタルハ贊同ヲ表シ難シトス目下同航路ハ獨占ニモアリ且ツ一般ノ運賃引締レルカ上石油積載ニ付テハ香港ニテ港外ノケロシングラウンドニ投錨スルノ必要アリ此場合ニハ支那街ヨリ遠

カルヲ以テ船客ヲ得ルヲ甚少ナク又厦門ニテハ三千箱以上積載スル場合ニハ港外ニ
 投錨シ荷役ニ不便ヲ蒙ル等ノ不利アルヲ以テ運賃高カラサレハ不引合トナル事情ア
 ルニヨリ機ヲ見テ引上クルヲ得策トス又輸出貨物ノ運賃ハ積出地ノ商況ヲ知了スル
 ニアラザレハ懸引上不利少ナカラサルヘキヲ以テ斯ル場合ニハ積荷地ニ交渉スルヲ
 必要トス

乗客運賃

航路	船名	現行		定額	
		上	下	上	下
福州	厦門間	二五	至六	四五	一四
同	厦門間	一五	一四	二五	八
同	汕頭間	二〇	至五	三五	一〇
同	汕頭間	三五	八	四五	一四
同	汕頭間	一〇	登八	一五	四
同	厦門間	二〇	至四	三〇	八
同	安平間	三五	五	三五	一〇
同	安平間	二五	五	三五	一〇
同	厦門間	一五	三	二二	三
同	汕頭間	二〇	四	二四	六
淡水	香港間	二五	五	三五	一〇

同	厦門間	一〇	二	一二	三
同	汕頭間	二〇	三	二四	六

ダグラス船ハ前記同様ナレトモ社船ト突合ハサルトキハ運賃ヲ引上ケ全ク一定セ
 ス香港厦門間一等二十五弗香港淡水間五十弗トシ且ツ三等運賃ノ如キハ時々高低
 セリ

福州香港線ハダグラス船多ク競争ノ爲メ運賃ハ下落シ居レリ然レモ香港ヨリ各港ニ
 至ル分ハ引締リ居リ其他運賃ノ最モ高キハ汕頭ニシテ安平迄一等四十弗三等七弗(定
 額ヲ一等二十四弗三等六弗)トナシタルヲナリ安平ハ割合ニ安キヲ感シタルヲ以テ引
 上ケ方ヲ注意シ置キタリ

要スルニ是等ノ事項ハ香港ニアリテ各地ノ商況配船ノ模様ヲ察シテ充分ノ監督ヲナ
 スニ非スンハ業務ノ刷新ハ望ム可ラサルナリ

第十五 外國郵便物

福州厦門汕頭香港ヨリ各船郵便物ヲ運送シツ、アルコナルカ香港郵便官衙ヨリハ舊
 臘迄各船ニ委託シタル郵便物ニ對シ書狀壹通二仙端書一通一仙ノ割合ヲ以テ合計百
 四十餘弗ヲ支拂ヒタリ汕頭其他各港ニテハ郵便物ヲ運搬スル常設航路ノ船舶ハメ
 ルリストニ記入シ日曜日休日等ノ開關料ヲ半減シ吳ル、トトナリ居レモ社船ハ斯ル
 取扱ヲ受ケタルコトナキヲ以テ各代理店ヲシテ各稅關ニ交渉セシムルコトナシタリ此
 ノ如クンバ船出入手數其他ニ付キ稅關トノ關係頗ル便宜ヲ有スルコト多ケレハナリ

第十六 各船買辦

南清地方ニ於ケル買辦ノ組織ハ長江及ヒ北清地方ノ如ク整備セルモノニアラス長江ニテハ船客ノ賄ヒ及ヒ荷物ノ受渡悉ク之レヲ引受ケテ其責任ノ多キカ故ニ身元確實ナル保證人ヲ立テ或ハ相當ノ保證金ヲ納ムルヲアリ貨物ノ受渡ヨリ生スル損害ハ之レヲ辨償シ自ラ之レヲ辨スルヲ能ハサルハ保證人之レヲ引受ケ船主ニ累ヲ及ホサル組織トナリ居レモ南清ニテハ是レ等ニ關スル買辦ノ組織不完全ニシテ保證人トテモ確實ナルモノニアラス買辦其物モ不信用ノモノ多ク到底充分ナル責任ヲ負ハシムルヲハ至難ノトトス現ニ當社船買辦ノ失敗多キハ之レカ爲メニシテ要スルニ買辦ト云ハンヨリ數取人ト名クルヲ當チ得タリトスダグラス社ニテハ船中買辦ハ賄ヲ引受クルノミニシテ荷物ハタリリマン(ハインハイタンニハ各六人其他ニハ各四人)ヲ置キ運轉士之レヲ指揮シテ受渡ヲ行ヘリ

當社ノ各船買辦ハ皆區々ニシテ淡水丸ニハ日本人ノタリリ四人ヲ置キ運轉士責任ヲ負ヒ大仁丸ハ買辦ヲ備ヒ責任ハ本船ト買辦ト折半トシ明石丸安平丸ハ責任全ク買辦ニアリ其給料人員左ノ如シ

淡水丸	タリリ	四人	十七四二人	食料ヲ給ス
大仁丸	譚雨村	百二十五弗	部下五人	食料ヲ給セス
明石丸	蔡煥榮	百五十弗	同八人	同
安平丸	陳楚卿	百七十五弗	同十三人	同

從來買辦ハ三井物産支店ニテ周旋シタリシカ皆失敗ニ了リタルヨリ同支店ニテハ最

早周旋セス目下各船ニテ勝手ニ雇入レ別ニ契約書ノ取替シモナク保證人トテモ定マラス只安平丸ノ分ノミハ左記ノ如キ保證人引受證アルノミニシテ是レトテモ其保證金ヲ預ケ入レタルニアラス故ニ彼等ノ確實ハ持ム可ラス

立保吳鑑榮今保陳楚卿今常安平丸執事辦房之職如有各項客貨不得遺失倘遺失該陳楚卿自行理明恐陳楚卿私自走避向保人備銀五百大元正恐後無憑今立保摺存照

大清光緒二十六年九月

保人 吳鑑榮

秦昌油漆木作 吳鑑榮字

荷物受渡ニ關シ今日迄ノ成績ヲ聞クニ大仁丸ノ買辦ハ淡水丸ノ日本人タリリニ比シテ成績佳良ナリト云ヘリ又安平丸ハ荷物少ナキヲ以テ事故モ亦頗ル少ナシ要スルニ日本人タリリヲ使用スルハ費用少ナシト雖モ言語通セサルノ不便アリテ受渡ニ便宜ヲ缺ク多ク支那人ノ情實ヲ理解シテ其狡猾ナル手段ヲ看破スル能ハス支那人ナレハ其患ナキモ多ク費用ヲ要シ且ツ動モスレハ荷物ヲ竊取スルヲ密商ヲナスト及ヒ辨償ノ責ニ耐ヘサルハ逃亡シ其弊モ亦少ナカラス要スルニ南清ノ買辦ハ不確實ヲ常トスルヲ以テ其荷物ノ責任ヲ以テ全ク之レニ一任スルハ策ノ得タルモノニアラス且又貨物受渡ノ責任買辦ニアルノ結果船員ハ其積卸ニ對シ充分ナル監督ヲナストナク從テ不取締ニ流ル、弊多シ思フニ目下買辦ヲ廢シテ全然タリリトシテ備入レ給額ヲ削減シテ備入ノ際ハ必ス保證金ヲ納メシメ其受渡シヨリスル辨償ノ責ハ折半若クハ其幾分トシ事故ノ生セサル航海度數若クハ荷物ノ數ニ比例シテ別ニ賞格ヲ立ツルトトシ又船員ニハ充分監督ノ責任ヲ負擔セシムルトトセバ一方ニハ逃亡竊盜

安平丸 銃ヒストル 六三 丁
 淡水丸 銃ヒストル 六六 丁
 明石丸 ナシ
 海龍丸 銃ヒストル 六四 丁

斯ク區々ニナリ居リテ且ツ備付タル室ノ如キモ一定ニ居ラス又海龍丸ニ備付ケタル
 彈藥ノ如キハ已ニ古ビテ發火セスト云ヘリ是レ萬一ニ應スルノ方法完全セリト云フ
 可ラス故ニ是ハ船内規律ノ一トシテ彼ノ火災防備ノ手順定マレル如ク警備ニ關シ規
 則ヲ定メ置ク必要アリ其取締ルヘキ事項ハ左ノ如シ

- 一 使用ニ耐ユヘキ武器ヲ備ユル
- 一 備付室ノ如キモ船ノ便宜ニ任シ一定セシメ置ク
- 一 武器保存ノ方法

第十九 支那人下級船員

支邦人ヲ下級船員トシテ備入ル、トニ付テハ經費ハ節減シ得ヘジト雖モ亦一方ニ弊
 害ノ存スルコトモ亦少ナカラス支邦人ハ平時執務頗ル柔順ニシテ上長ノ命ヲ奉スト辛
 勞ニ耐ユト雖モ一朝危急ノ場合ニハ全ク委縮シテ用ヲナサストハ一般海員ノ唱フル
 所ニシテ且ツ油差ノ技術ハ概シテ拙劣ナルコトハ定論タリ且ツ支邦人ヲ使用スルハ
 ハ竊盜ノ癖多キヲ以テ充分監視ノ必要アリトス又支邦人ヲ使用スル上級船員ハ悉ク
 英語ニ通スルモノヲ用ヒサル可ラサルノ不便アリ要スルニ船員ヲ擧テ支邦人トナス
 キハ一朝事アルニ及ハ、用ヲナサ、ルノミカ危險ヲ増スノ悞レ多ク又機敏ヲ要シ大

勝ヲ要スル任務又ハ複雑ナル用事ヲ辨スルコトノ如キハ支邦人船員ニテハ不充分ナル
 ナ以テ下級船員ノ重要ナル部分即チ舵夫油差ハ日本人ヲ使用スルヲ以テ得策ナリト
 信スダクラス船ニテハ昔ハ全部支邦人ヲ使用シタリシカ今日ハ舵夫ハマニヲ人ヲ使
 用シ居レリ

ダクラス船員表 (阿部店長ノ調査ニ依ル)

船	一等運轉士	二等運轉士	三等運轉士	機關長	二等機關士	三等機關士	水夫長	舵夫	木工	水夫	油差	フオールモサ		
												人	ハイムン	
船長	一八、一五	一〇、一〇	八、〇五	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
一等運轉士	一八、一五	一〇、一〇	八、〇五	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
二等運轉士	一〇、一〇	一〇、一〇	八、〇五	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
三等運轉士	八、〇五	八、〇五	八、〇五	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
機關長	二六、〇五	二六、〇五	二六、〇五	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
二等機關士	一八、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
三等機關士	一一、一五	一一、一五	一一、一五	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
水夫長	二二、〇〇	二二、〇〇	二二、〇〇	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
舵夫	一八、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
木工	一八、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
水夫	九、〇〇	九、〇〇	九、〇〇	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料
油差	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	二六、〇五	一八、〇〇	一一、一五	二二、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	九、〇〇	七、〇〇	三〇、〇〇	人	一人一ヶ月給料

調査シ之ヲ實際ニ於ケル買入直段及ヒ大阪ニ於ケル價格ト對照シタリ
 ウキンキーニテハ買入品代價ニ對シテハ五分ノコンミションヲ支拂ヒツ、アルナ
 云フモ他ノ三店ニテハ價格表ニ記載シタルハ實額ニシテコンミションヲ附セサルナ
 リト答ヘタリ又各船ヨリ請求スル消耗品ハ必要ノ程度、使用ノ方法、數量、品種及ヒ價格
 ノ點ニ於テ取締ル所ナク只其請求ノ儘仕拂ヒ居リテ淡香線汽船丈ケハ近頃淡水支店
 長ノ捺印ヲ要スルトナク居レ是是是モ技術者ニアラサルヲ以テ未タ充分ナル取締
 ト云フ可ラス故ニ香港ニハ相當ノ技術者ヲ置キ購入品及ヒ修繕ニ關シ之レカ監督ヲ
 ナス最モ必要ナリト信ス

各部需用品價格對照表

品目	種類	數量	カ カ マイ	ビ ス マ	ウ キ ン	リ ツ チ	香 港 買 入 直 段	大 阪 買 入 直 段
ホワイトジシク	上等	二百	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00
同	中等	同	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00
同	下等	同	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00
ホワイトレッド	上等	同	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00
同	中等	同	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00
同	下等	同	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00
レッドレッド	上等	同	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00
同	中等	同	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00
同	下等	同	110'00	110'00	115'00	110'00	110'00	110'00

ベ イ ラ ン ツ ク	上 等	同	110'00		100'00	120'00	120'00	110'00
全	中 等	同	110'00				120'00	
全	下 等	同	100'00					110'00
ター ベ ン チ ン	上 等	ロー ンガ	110'00	20'00	100'00			110'00
全	中 等	同	100'00					
全	下 等	同	100'00					
パ ツ キ ン ス	上 等	一 磅	110'00	0'00				110'00
全	中 等	同	110'00					
全	下 等	同	110'00					
ア ス マ ス ト	上 等	同	110'00					
全	中 等	同	110'00					
全	下 等	同	110'00					
チ ー チ イ ル	上 等	ロー ンガ	110'00	1'00	1'00	1'00	1'00	1'00
全	中 等	同	110'00					
ケ ロ シ ー ン		一 箱	110'00	110'00				110'00
ボ イ ル ド チ イ ル	上 等	五 ンガ	110'00		110'00	110'00		110'00
全	中 等	同	100'00		100'00			100'00
全	下 等	同	100'00		100'00			100'00
シ ン ク イ ン ダ ー	上 等	ロー ンガ		110'00	110'00	110'00		110'00
全	中 等	同						
全	下 等	同						

第三 會社其他へ提出ノ書類ハ頗ル繁多ナルニ一方ニ港口出入運轉士ノ手ヲ要シ航海中ハ波浪ノ爲メ船体動搖シテ執務ヲナス能ハサル場合多シ

第四 船客ノ待遇其他船内ノ取締リ現時ノ運轉士ノミニテハ行届キ兼ヌヘシ或ハダグラス船ニ於テ事務員ヲ置カサルヲ以テ反問スルモノアルヘケレモダグラス船ハ船中ノ丁大小トナク船長ニ決シ書類ノ煩少ナク船員皆航路ヲ熟知シ又船長運轉士船客待遇ノ方法ニ慣レ且ツ語學アル人ヲ要セサルヲ以テ事務員ヲ置カサルモ全ク差支ナ見スト雖モ當社船ニハ目下ノ狀態事務員ヲ廢止スルハ不便ナリト信ス

第二十四 船員社宅

船員社宅給與ニ關シテハ其設置ヲ必要トスル意見ノ數々提唱セラレタルヲナルカ元來船員ハ船是レ家ニシテ船ニハ相當ノ設備ヲ施シ且ツ食料ノ支給モアルヲナレハ更ニ陸上ニ邸宅ヲ給與スル謂レアルベカラス或ハ特別ノ事情ノ爲メ假令之レニ充分ナル待遇ヲ與フルノ必要アリトスルモ必スシモ特ニ社宅ヲ給與スルノ必要ヲ認メス俸給若クハ手當ノ増加何レニスルモ他ニ方法アリト信ス然リト雖モ現時南清航路ニ於テ各船船員ニ社宅給與ヲナストシテ其方法如何ヲ研究スルニ社宅設置ニ便利ナル位置ハ淡水香港線ニアリテハ淡水ハ日本ノ領土ニモアリ家賃モ廉ニ日用品ノ買入モ左マテ不便ナラサルヲ以テ同處ヲ可トスヘシ現ニ淡水ニテハ兩船ニ對スル家賃ヲ借入レ居レリ即チ二棟ニテ七家族ヲ住居セシムヘク一棟ハ一ヶ年七百圓一棟ハ五百五十圓ノ家賃ナリ安平香港線福州香港線ニアリテハ安平ハ波浪高ク陸上トノ交通頗ル不

便ニシテ又福州ハ馬尾ノ碇泊地ヲ距ル丁九連ノ上流ニアリテ往來全ク潮流ニ依ラサルヘカラサルヲ以テ共ニ不便ナリトス又馬尾ノ碇泊地ハ人家アリト雖モ現時家族ヲ住居セシム地ニアラス勢之レヲ香港ニ求メサル可ラス

香港ニテ相當ノ家賃ヲ借入レントスルニ於テハ四家族ヲ住居セシムルモノニテ一ヶ月二百弗以上ヲ要シ且ツ之レカ内外ノ裝飾ニ少ナカラサル費用ヲ投セサル可ラス又之レヲ雜居ノ家賃ニ求ムレハ一室二室ニテ最低一ヶ月二十弗位ナリト云ヘリ

又社宅ヲ設クルトシテ同一ノ家賃ニ多數ノ家族ヲ住居セシムルハ其間云フ可ラサル紛糾ヲ生スルヲアリ頗ル不便トス又獨身者ニハ社宅ヲ給スルモ其便ヲ受クル程度多カラス社宅ヲ給スル趣旨モ亦徹底セサルヘシ

又社宅ヲ給スルハ前記ノ外家賃ノ借入其他少ナカラサル手數ヲ要スルヲ以テ寧ロ社宅料ヲ支給スルトセハ可ナラントノ說アリ左スレハ船員皆自由ニ家賃ヲ借入ル、トナ得ルノ便宜アレモ家族ヲ有セサルモノモ社宅料ヲ支給セラル、トナリ徒ニ失費ノミ多クシテ得ル所ナカラン故ニ船員ハ社宅ヲ給スルトセハ社宅料ニ相當スル額ヲ妻帶費トシテ給與スルトセハ家族携帶ノ獎勵トナリ海員ヲシテ長ク一定ノ地ニ居ラシムル念慮ヲ増サシムヘシ而シテ妻帶費ノ額ハ最高二十五弗最低十五弗ノ範圍ニテ可ナリト信ス

第二十五 香港代理店計算

代理店計算ノコトニ付テハ當初調査ノ一項ニ加ハリ居タルモ既ニ計理課出張所ヲ設

置スルヲ決定シ担務者ノ夫々任命アリタルヲ聞キタルヲ以テ別ニ調査ヲナサス又
 計算ニ關シテハ全ク門外漢タルヲ以テ此ニ之レニ關スル報告ヲナスハ失當ノ嫌ナキ
 ニ非サルモ聞見シタル事情并ニ卑見ヲ陳述ス
 淡水支店ニテ聞ク所ニヨレハ香港代理店ノ計算ノ仕振ニ關シ云フ所ノ要領ヲ摘メハ
 第一証票ノ不整頓第二計算ノ敏速ナラザルコト第三應答ニ關スルコト是レナリ
 トス

第一 証票ノ不整頓ニ對シテハ實際三井支店ニテハ自然生シ勝チノトニテ商船會
 社ニテハ會計ノ規則頗ル嚴重ニシテ人ニ信ヲ置カス手續ニ重キヲ置クノ傾
 向多ク從テ証票ノ調へ嚴酷トナリ居レルニ反シ前者ハ証票ハ固ヨリ貴重ス
 レル人其者ヲ信スルノ風多ク後者ハ縱令支店長ノ認タル所ト雖モ規則ニ背
 キ居レハ一錢ノ微ト雖モ調査ヲ盡サ、レハ己マス前者ニテハ支店長ニ總テ
 ノ權限ヲ與ヘ其認ムル所ハ本店ニテモ承認スルトナリ居ルヲ以テ証票モ
 亦粗雜ニ流レ易ク又外國ニアリテ商賈ニ支那人又ハ外國人相手ニ取引ノ際
 悉ク証票ノ作成ヲ望ム可ラサルヲアリ又前者ニ於テ可成取立ヲ急ニスル爲
 メ假証票ヲ以テ支出ノ部ニ記入スルトモ往々アルトナラン全体三井支店ノ
 計算方法粗大ニテ後者ノ精細ニ過ルルモノト其方法反對ナルノ結果証票不
 整理ノ非難ヲ生シタルト信ス其不整理ヲ拒カントセハ其仕拂ヲナスニ先チ
 又ハ勘定書ヲ送付スルニ先シ之レヲ檢査スルトトセハ其弊ハ自ラ滅却シ得
 ヘシト信ス

第二

計算ノ敏速ナラザルト 元來三井支店ニ代理店委託ノ當初ハ單ニ臨時船委
 托ノトノミナリシカ此際契約ヲ結ブニ當リ香港ニ於テ出荷ノ習慣ハ荷主ヨ
 リ運賃ノ收入ハ二ヶ月モ後ル、ニヨリ斯ル荷主ニ對シテハ運賃取立遅延ス
 ルヲ以テ運賃計算ニ關シ左ノ但書ヲ加ヘテ契約ヲ締結シタリ
 第七條 香港又ハ其他ノ港ニ於テ三井物産會社カ商船會社ニ代リ契約ヲ結
 ビ若クハ取扱タル荷客ノ積入地拂運賃ニ對シテハ本船出港後十日以内ニ
 於テ計算書ヲ作り諸費用手数料及立替金ヲ引去リタル殘金ト共ニ之レヲ
 商船會社ニ送付スヘシ

但シ十日以内ニ運賃金ヲ取立テ難キ習慣アル荷主ニ對シテハ本船出
 港後二ヶ月以内ニ取立テ送金スルモノトス

此契約ハ明治三十二年一月二十日ヲ以テ滿期トナリシモ双方異存ナキヲ以
 テ尙一ヶ年繼續ノトトナリ尋テ翌年四月淡水香港線ヲ開始スルニ至リテモ
 此契約ニ準據シ貨物運賃ハ二ヶ月後ニアラサレハ收入トシテ計算セサルコ
 トナリ居リテ同月末ノ計算ヲ見ルニ運賃總額ト支出トノ差額二千五百四十
 八弗四十九仙ハ三井ニ貸越トナリ居レ三井ヨリ淡水ニ見シタル計算ニテ
 ハ實收額ト支出額ノ差二千五百七十七弗六十三仙ノ不足トナリ居レリ斯ク計算
 ノ遅引スル不便アリ且淡水香港線ノ如キ新定期航路ヲ開始シタルニヨリ契
 約修正ノ必要ヲ感シ更ニ條項ヲ増加シ左ノ如ク締約シタリ
 第七條 三井物産會社ハ淡水香港線ニ於ケル定期船ニ對シテハ一航海毎ニ

運賃及諸費用ノ收支計算書ヲ作り之レヲ商船會社淡水支店ニ報告シ一ヶ月毎ニ貸借勘定書ヲ作り該店ニ對シ計算ヲ了スヘシ
 第八條 香港若クハ厦門ニ於テ三井物產會社カ香港淡水線以外ノ臨時船ヲ取扱ヒタルトキハ本船出航十日以内ニ本船ニ對スル收入運賃諸費用手数料立替金等ニ對シ淡水香港線ト別途ニ計算書ヲ作り商船會社本店ニ對シ計算ヲ了スヘシ

但シ十日以内ニ運賃收入ヲナスコトヲ得サル習慣アル荷主ニ對シテハ本船出港後二ヶ月以内ニ取立テ送金スルモノトス
 即チ臨時船ニアリテハ從前ノ通り運賃二ヶ月後收入ヲ許シタルモ南清各船ニ對シテハ特ニ一ヶ月毎ニ勘定書ヲ作り其差引殘ハ送金スルトナリ居レリ然ルニ或人ハ計算ヲ了スヘシトアルハ其計算書ヲ作成送付スルトノ意義ニシテ金錢ノ受授ヲ包有シ居ラストノ議ヲ唱フル趣ナルモ此計算ヲ了スト云フハ所謂 Settlement of account ニシテ已ニ貸借勘定書ヲ作り該店ニ對シ計算ヲ了スヘシトアル以上ハ其計算尻ノ完済ニアルコト明白ニシテ一點ノ疑ナキナリ故ニ淡水香港線ニアリテ該契約以後ノ計算ハ一ヶ月毎ニ整理シ其都度送金ヲ求ムヘキ筈ナルニ而モ從前ノ通り二ヶ月後收入ノ計算ヲ默過シ九月末日三井ト淡水支店トノ計算ハ運賃總額ニ於テ差引七千四百九十九弗五十一仙淡水支店ノ貸越トナルニ對シ三井ヨリ淡水支店ニ見ハセル計算ハ運賃實收額トノ差三百一弗七十仙ノ貸越トナリ居リテ此際契約條項ノ履行ヲ以テセハ

七千余弗ノ支拂ヲ督促スヘキニ單ニ三井支店ヨリノ計算書ヲ受取タル儘充分交渉ヲ盡スコナク双方計算ヲ異ニシタル儘時日ヲ經過シ船舶ノ増加ト共ニ多額ノ差異ヲ生スルニ馴致シタルモノニシテ今日ニ至リ計算遲滞ヲ驚クハ却テ怪訝ニ耐ヘサル所ナリ荷主今日計算ノ遲滞ヲ論スルニ當リテハ何故當初契約條項ニヨリ計算方法ノ履行ヲ迫マラザリシヤ已ニ契約條項ニ相違セルヲ默過シナカラ又其相違セル計算書ノ交付ヲ受ケナカラ其計算ノ失當ヲ訴フル所ナクシテ何故今日計算ノ遲滞ヲ責メントスルヤ此ノ如キハ計算ノ方針ニ關シ一定ノ準繩ノ存セサルニ歸因セスンハアラス要スルニ固ヨリ三井支店ノ取扱ニ關シ非難スヘキ點少ナカラサルヘシト雖モ當初ヨリ取締リノ道ヲ盡サ、リシモ亦不整理ノ一因タルヘシ又三井支店ノ組織ニ關シテモ同店ニハ買辦ニ五十弗ノ俸給ヲ與フルノミニシテ買辦ハ綿糸雜貨ヲ他ヘ轉賣スルニ當リ三井支店ニ對シ支拂保證ノ衝ニ當リ其買辦ノ差金并ニ期限前ニ入金シタルモノニ對シテハ其間ノ利息ハ其收得トナリ居リテ常ニ三四万弗ハ買辦ノ手許ニアルトノコトナレハ運賃ノ如キモ買辦ノ既ニ收得シテ三井支店ヘ計算ヲサ、ルモノ多カルヘシ是レ計算ノ遲緩スル理由ノ一タルヘシ是ハ買辦迄立入りテ其計算ヲ催促セントセハ別ニ支那人ヲ借入レ荷主ヲ調査スルヨリ外ナシト信ス而モ此ノ如キ煩ハ行フニ費多クシテ得ル所少ナカラシ故ニ若シ計算ノ滯滞ヲ防カントセハ第一着ニ契約ノ條項ニ據リ三井支店ニ對シ月末計算ヲ追ルカ左ナタハ二ヶ月前ノ分必ス入金シタルモノ

トシテ三井支店ニ負担セシメテ差引計算ヲ行ヒ當社ノ借越ハ直チニ決済シ
 從テ貸越ハ直チニ取立ツルトトセハ甚シキ滯滞ヲ來スナカラン
 第三 三井支店トノ應答ニ關シテハ同店モ亦一個ノ商人ナレハ其利アルニ走り損
 アルニ爭フハ商賣上當然ノ事ニテ固ヨリ掛引上ニ關シテハ同店ハ頗ル敏慧
 ニ過クルトノ評アル位ナレハ其不利ト認ムル點ニ於テ懇切ヲ缺クナキニ
 アラサルハシ然レモ其ハ内地取扱店ノ本社ニ對スルト同一視スヘカシサルハ
 勿論營業ノ種類ト方法トヲ異ニセルカ上彼我事情ノ相通セサルヨリ種々行
 違ヲ生シタル點モ亦少ナカラス當社ニ於テ三井支店ヲ非難スレハ三井支店
 ハ亦當社ノ冷淡ト不整理ヲ唱フヘシ現ニ過般安平支店送金ノ件并ニ之レニ
 附隨シテ現金送付ノ際二回迄モ一弗宛ノ不足ヲ生シタル如キアリタルヲ
 以テ單ニ一方ノミヲ咎ム可ラサルナリ要スルニ三井支店ニテハ當社ニ對シ
 自ラ先進者タル態度ヲ執リ且ツ當社ノ資金ヲ投スルノ吝ナルヲ惜ミ當社ニ
 テハ代理店タル上ハ本支ノ關係アリト認メ今少シ周到ノ注意ヲナサンナ
 望ミ且ツ其利得ノ計算ニ解釋ヲ異ニシ融和セサルモノアリニハ双方業務
 ノ方針徹底セサルヨリ自ラ其間郭壁ノ生スルニ至リタルモノト云ハサル可
 ラス故ニ香港ニハ海事ニ經驗アリテ重望アル監督ヲ置キ一般ノ業務ヲ監察
 シ事情疏通ノ便ヲ計ルナク最モ切要ナル問題ナリト信ス
 要スルニ南清航路ノ計算ハ主義一貫ヲ欠ケルノミナラス計算ノ方法モ亦一定セス安
 平ト淡水トハ同一社ノ下ニアリテ同一ノ店ニ對シ計算ヲ區別シ汕頭ノ計算ハ香港ニ

對シ廈門ノ計算ハ淡水ニ對シ福州ノ計算ハ廈門ヲ經テ淡水ニ對シ精算スルトナリ
 居ル如ク區々ノ取扱トナリ一定ノ統轄ナキハ策ノ得タルモノナリト云フ可ラス而モ
 之レヲ淡水ノ如キ全航路ニ對シ統轄ノ地ニアラサル所ニテ之レヲ整理セントスルモ
 亦當ヲ得サル所ナリ
 又當社ノ計算法ニヨレハ總テノ領收證ニ對シ翻譯シタルモノヲ付シ證票ヲ二重ニ作
 リ科目ヲ分チ記帳スルトナリ居レルカ今ヤ外國航路漸次擴張セラル、トナリ居
 ルヲ以テ此等ノ手數ヲ省略スルナクハ最モ必要ナリト信ス然ラスンハ航路ノ擴張ニ伴
 ヒ計算益複雜シ費用益多ク而シテ計算愈々遲滞ヲ來サン
 以上ノ理由ニヨリ南清航路ニ於ケル計算ノ方法ハ急ニ一新スルノ必要アルナカ
 先ツ左記ノ如クセハ稍整理ノ實ヲ舉グルニ庶幾カラシムルカ
 一 南清各店ノ計算ハ本社直轄トナス
 一 香港及ヒ廈門ノ計算ノ方法ヲ一定シ契約書ノ事項ニヨリ實行ヲ迫ルカ左ナク
 ハ二ヶ月前ノ分ハ必ス入金セシムル
 一 各支店ハ一航海ヲ終了スル毎ニ計算書ヲ作り月末ニハ遲滞ナク證票ヲ整理シ
 テ本社ニ送付スヘシ
 一 各代理店ハ一航海ヲ終ル毎ニ計算書ヲ作り本書ヲ本社ニ寫シテ香港出張所ニ
 送付シ又一ヶ月毎ニ貸借勘定書ヲ作り本書ヲ本社ニ送付シ其寫ニ證票ヲ添付
 シテ香港ニ送付スル
 一 各代理店ノ計算尻ハ本社ニ對シ送金又ハ逆爲替ヲナス等ナレモ爲替不便ナル

- 一 以テ香港代理店ニ對シ決済スルコトシ香港代理店ハ貸借勘定書ノ寫ニヨリ其計算尻ヲ引受ケ入金又ハ送金シ其結果ヲ本社ニ報告スルコト
- 一 香港代理店ハ香港以外ノ各代理店ニ對シ貸借ノ計算尻ヲ決済シタル上本社ニ對シ貸借ノ決済ヲナスヘキコト
- 一 香港ニハ營業ノ監督及ヒ技術ノ監督各一名書記二名ヲ置キ證票及ヒ計算ヲ檢査スルコト
- 一 各店ノ証票ハ點檢シタル上各店毎ニ取纏メ本社ニ送付スルコト
- 一 香港代理店ハ監督ノ證印アラサレハ支拂ヲナスコトヲ得サルコト
- 一 証票ニ誤謬アリ計算ニ誤アルルハ其旨ヲ代理店ニ通シ訂正ヲナサシメ本社ニモ訂正ヲ報告セシムルコト
- 一 香港ニ於ケル監督以下ノ職務ノ分擔左ノ如シ
 - 一 營業ノ監督ハ貨物ノ集散運賃ノ高下ヲ察知シ船舶ノ配置及一般ノ營業ヲ監督スルコト并ニ各店船ノ營業費用ノ檢査ヲナスコト
 - 二 技術ノ監督ハ船舶ノ操縦ヲ監督シ各部消耗品費修繕費ノ檢査ヲナスコト
 - 三 書記二名ハ船費店費及ヒ各店ノ計算ヲ檢査スルコト
- 一 香港ノ出張員設置ニ對スル經費概算左ノ如シ
 - 一 監督一名俸給與貳百五拾圓一名參百圓
 - 一 書記二名各一ヶ月百貳拾圓
 - 一 家賃一ヶ月五拾圓
 - 一 金貳千八百八拾圓
 - 一 金六百圓

一金貳千四百圓

計金壹萬貳千四百八拾圓

但シ社宅費器具費及ヒ旅費ヲ除ク

帳簿郵便其他雜費勞力傭賃一ヶ月貳百圓

第二十六 雜 件

- 一 各船ボーイノ取締
 - 船内ボーイノ日本人タルト支那人タルヲ問ハス取扱ニ慣レス客ニ對スル舉止ノ粗糲ニシテ客ヲシテ不快ヲ感セシムルコトアリ充分之レヲ取締ルコト必要ナリ
 - ボーイノ服裝
 - ボーイノ服裝一定セサルヲ以テ中ニハ見苦シキ衣服ヲ着ケ食卓ニ侍スルコト往々アリ速カニ改良ヲ加ヘサル可カラス
 - 一 乗降客ニ對スル取扱
 - 流船發着ノ際ハ船客乗降ノ爲メ混雜ヲ極ムルコトナルカ事務員ニ於テ今一層周到ナル注意ヲ以テ懇切ニ取扱ヲナサンコトヲ希望ス事務員勉メサル爲メ從テボーイモ亦充分立廻リヲナサ、ルハ數々實見シタル所ナリ
 - 一 船内揭示
 - 船内ニハ何等ノ揭示モナク殆ント何等ノ廣告モ見エサルコトナルカ船内ニ於ケル規則定期表其他廣告トナルヘキモノハ英文支那文ヲ以テ体裁善キ揭示ヲ爲サンコト必要ナリ

一 船内掃除

船室ノ掃除行届カサルト多ク支那人ボーイ等ハ嚴重ニ取締ヲナサ、レハ勞ヲ厭フテ働カサルモノナルヲ以テ規律ヲ設ケ嚴密ニ之レヲ勵行スルト必要ナリ

一 船内直取リ

各船運賃直取リ頗ル多ク此間自ラ奸曲ノ行ハレ易キモノナルヲ以テ是ハ全然船長ノ責任トシ人員調査ノ際ニハ一等運轉士ヲシテ事務員ト立會ハシメ且ツ直取リ切符ヲ發行シテ充分之レカ取締ヲナサント切要ナリ

一 往復切符發行

一定ノ往復切符ヲ發行シ其使用期限ハ凡ソ二ヶ月トシ船客ノ便ヲ計リ且ツ之レカ運賃計算ノ方法ヲ一定スヘシ

一 陸上ニ於ケル廣告

各港陸上ニ於ケル廣告ノ手段ニハ尙ホ充分力ヲ用ユル必要アリ航路案内及ヒ曆類ノ配布等事小ナリト雖モ効果頗ル多シト信ス

明治三十四年六月四日印刷
明治三十四年六月七日發行



編輯人兼

大阪市北區土佐堀北通三丁目二番地
河野文一

印刷者

大阪市西區阿波座一番町六十番屋敷
矢野松吉

印刷所

大阪市西區阿波座一番町六十番屋敷
大阪製本印刷株式會社

83
65



南清航路視察復命書

河野文一編

067209-000-8

83-65

南清航路視察復命書

河野 文一 / 編

M34.6

CDG-0404

